

令和2年度

事業報告書

社会福祉法人

西予総合福祉会

令和 2 年度 事業報告

社会福祉法人 西予総合福祉会

当年度は、終息が見込めない新型コロナウイルス感染症への対応に迫られる一年となった。ひまわりカーニバルに代表されるような大規模なイベントは、ほぼ中止を余儀なくされた。しかし、少しでも利用者や園児が楽しめることは出来な
いかと規模の縮小や参加者限定にて保育園の夕涼み会や運動会などは実施することができ、コロナ禍での施設運営に臨機応変に対応する必要性を感じた。

最も感染症対策の基本となる「施設内に持ち込まない」を徹底するために職員には県外への不要不急な移動の自粛、利用者ご家族には面会の制限や禁止をお願いした。いずれも趣旨を理解いただき、感染防止に努めることが出来た。一方で面会の要望に対応すべく感染対策に関する各種助成事業等を活用し、各施設内のWi-Fiなどオンライン面会が出来る環境を整えた。他にもこの助成事業を活用し、空気清浄器等の備品を整備するなど、設備面でも感染症防止策を講じた。

新型コロナ対応で特筆すべきは今年1月下旬の市内高齢者施設での陽性者発生事案に関して、市内社会福祉法人の災害時相互応援協定に基づき、速やかに介護職員7名を派遣出来たことである。この間、西予市や市内他法人と連携し派遣職員からは陽性者を出すことなく同施設の事業継続に寄与出来た。真に社会福祉法人の地域貢献の重要性を示す機会となった。

このような状況下、今年度西予市より移管され運営を開始した、高山保育園の新園舎を西予市役所明浜支所隣接地に建設を開始し2月末に竣工した。新しい拠点
が完成したことでこれまで以上に地域の子育てを担っていききたい。また平成30年西日本豪雨災害の影響で、1年間休園していた明間保育園も4月から再開出来た。今後も地域に支えられながら、豊かな自然の中で保育を展開したい。更に放課後児童の支援拠点として、下宇和公民館の一部を借用し運営していた明下田クラブは、西予市が皆田小学校隣接地に建物を新築整備し、3月下旬の春休み期間中より事業開始した。

他にも三瓶町で、地域共生型交流拠点施設『なごみかん』を6月から運営開始した。目玉事業であるパンの製造・販売は地元で評判を得ており、障がい者の働く場として、地域の交流の場として歩み始めている。

人材確保では前年度6.7%であった正職員離職率が各事業所での日々の努力により目標数値を下回る4.4%に留めることが出来た。今年度の外国人雇用はミャンマー人技能実習生をあけはま荘で3名、皆樂園で2名受入れ、松葉寮のEPA介護福祉士候補生と合わせ、計9名となった。この方々も含めて、人口減少で新規雇用が見込めない中、今後も働き甲斐のある職場づくりに努めたい。

最後に、法人全体の収支状況は事業活動収支差額が前年度同様の4億7千万円であり、順調に経営出来ている。コロナ禍での利用控えなどが懸念されたが、各事業部の主要部門が堅調なことが要因であると考えられる。数値目標である前年度比3%増は達成できなかったが、法人創立50周年の節目の年につなげることが出来た。

次に項目別に報告

1. 会議の開催

(1) 評議員会

第1回（令和2年6月24日）

- 議案第 1号 平成31年度社会福祉事業収支決算の承認について
- 議案第 2号 平成31年度公益事業収支決算の承認について
- 議案第 3号 定款の一部変更について

報告第 1号 平成31年度事業報告について

第3回（令和3年3月13日）

- 議案第 7号 定款の一部変更について
- 議案第 8号 理事の解任及び選任について

(2) 理事会

第1回（令和2年5月29日）

- 議案第 1号 平成31年度社会福祉事業第6次収支補正予算(案)について
- 議案第 2号 平成31年度事業報告について
- 議案第 3号 平成31年度社会福祉事業収支決算の承認について
- 議案第 4号 平成31年度公益事業収支決算の承認について
- 議案第 5号 「老人事業部門」運営規程の改訂について
- 議案第 6号 「養護・障がい事業部門」運営規程の改訂について
- 議案第 7号 「松葉診療所」運営規程の改訂について
- 議案第 8号 規則規程の改訂について
- 議案第 9号 評議員選任・解任委員の招集について
- 議案第 10号 定時評議員会の開催及び議案について
- 議案第 11号 「高山保育園」新築工事計画の承認について

報告第 1号 運営協議会委員の選任について

報告第 2号 職務の執行状況について

第2回（令和2年7月29日）

- 議案第 12号 高山保育園新築工事請負契約の承認について
- 議案第 13号 令和2年度社会福祉事業第1次収支補正予算(案)について
- 議案第 14号 規則規程の改訂について

第3回（令和2年9月25日）

- 議案第 15号 規則規程の改訂について
- 議案第 16号 令和2年度社会福祉事業第2次収支補正予算(案)について

議案第 17号 令和2年度公益事業第1次収支補正予算(案)について

報告第 3号 予備費使用について

報告第 4号 職務の執行状況について

第4回(令和2年12月24日)

議案第 18号 規則規程の改訂について

議案第 19号 令和2年度社会福祉事業第3次収支補正予算(案)について

議案第 20号 令和2年度公益事業第2次収支補正予算(案)について

議案第 21号 令和2年度愛媛県指導監査の実施結果について

報告第 5号 職務の執行状況について

報告第 6号 高山保育園新築工事進捗状況について

第5回(令和3年3月18日)

議案第 22号 「老人事業部門」運営規程の改訂について

議案第 23号 「児童事業部門」運営規程の改訂について

議案第 24号 規則規程の改訂について

議案第 25号 令和2年度社会福祉事業第4次収支補正予算(案)について

議案第 26号 令和2年度公益事業第3次収支補正予算(案)について

議案第 27号 令和3年度事業計画(案)について

議案第 28号 令和3年度社会福祉事業収支予算(案)について

議案第 29号 令和3年度公益事業収支予算(案)について

議案第 30号 施設長の任免について

報告第 7号 職務の執行状況について

(3) 監査会 (令和2年5月20日・21日)

平成31年度、西予総合福祉会の決算について監査、承認を得た。

(社会福祉事業及び公益事業)

(4) 評議員選任・解任委員会

第1回(令和2年6月8日)

議案第 1号 評議員の解任及び選任について

(5) 運営協議会 (令和2年6月)

新型コロナウイルス感染防止の観点から書面で、

平成31年度 事業報告及び決算報告、各事業部事業概要報告をおこなった。

「法人決算概要」及び「施設別運営状況」は、別紙のとおり

2. 令和2年度：数値目標達成結果

(1) 定年退職者を除く正職員の離職率を5%以下とする。

目標	目標値	結果	R2	H31	H30
5%以下	5.0%以下	○	4.4%	6.7%	5.6%

(2) 労災保険対象事故の発生件数を前年度対比30%削減させる。

目標	目標値	結果	R2	H31	H30
前年比30%削減	8件以下	×	9件	11件	8件

(3) 事業活動資金収支差額を前年度対比3%増加させる。

目標	目標値	結果	R2	H31	H30
前年比3%増加	484,809千円以上	×	466,848千円	470,689千円	416,171千円

(4) 一人当たりの時間外労働を月平均5.5時間以下とする。

目標	目標値	結果	R2	H31	H30
月平均5.5h以下	5.5h以下	○	3.7h	5.5h	5.9h

(5) S2昇格試験受験要件指定資格の資格取得者を20人以上とする。

目標	目標値	結果	R2	H31	H30
20人以上	20人以上	×	7人	13人	11人

(6) ストレスチェック組織分析結果の健康リスクを95以下とする。

目標	目標値	結果	R2	H31	H30
95以下	95以下	×	102	107	98

(7) ホームページ閲覧数を前年度対比20%増加させる。

目標	目標値	結果	R2	H31	H30
前年比20%増加	76,618以上	×	51,124	63,848	62,224

(8) 障がい者雇用率について法定雇用率(2.2%)を達成する。

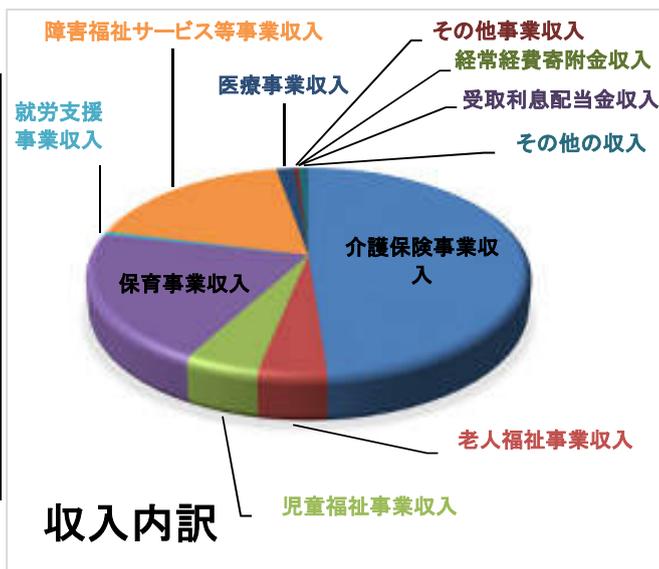
目標	目標値	結果	R2	H31	H30
法定雇用率達成	2.20%以上	○	3.36%	2.93%	2.65%

I. 事業活動による収入・支出額

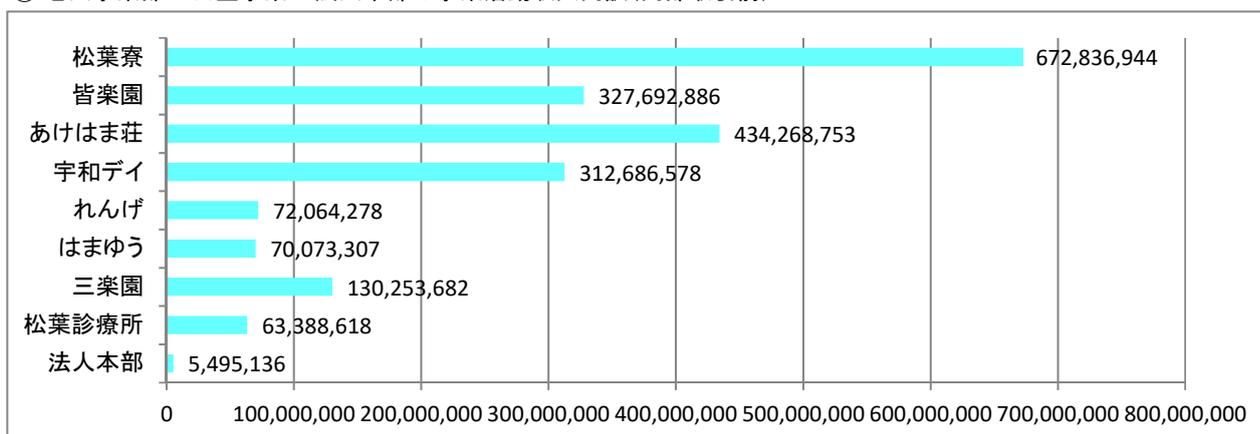
1. 事業活動による収入内訳

単位:円

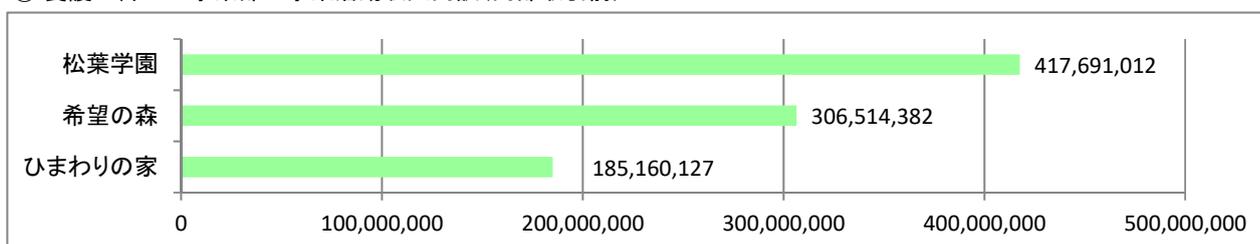
勘定科目	金額	率
介護保険事業収入	1,839,091,175	48.79%
老人福祉事業収入	165,649,263	4.39%
児童福祉事業収入	181,939,095	4.83%
保育事業収入	763,611,806	20.26%
就労支援事業収入	23,005,365	0.61%
障害福祉サービス等事業収入	692,367,249	18.37%
医療事業収入	57,487,367	1.53%
その他事業収入	12,847,862	0.34%
経常経費寄附金収入	2,885,900	0.08%
受取利息配当金収入	270,502	0.01%
その他の収入	30,139,260	0.80%
事業活動収入計	3,769,294,844	100.00%



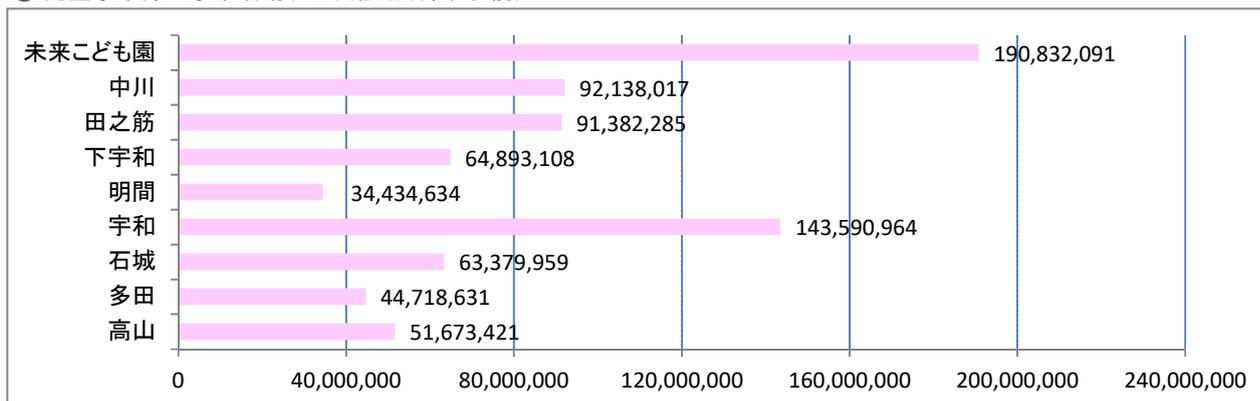
① 老人事業部・公益事業・法人本部の事業活動収入内訳(内部取引前)



② 養護・障がい事業部の事業活動収入内訳(内部取引前)



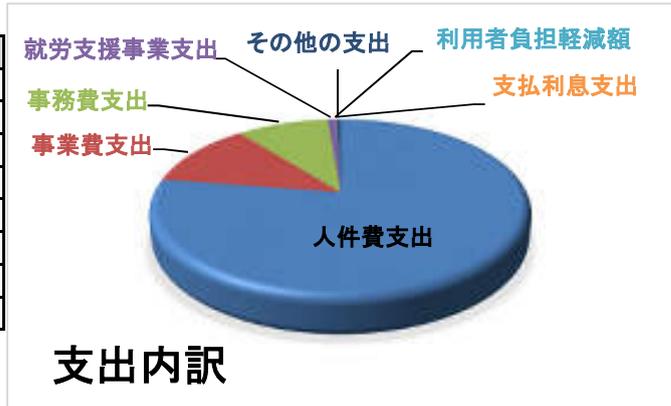
③ 児童事業部の事業活動収入内訳(内部取引前)



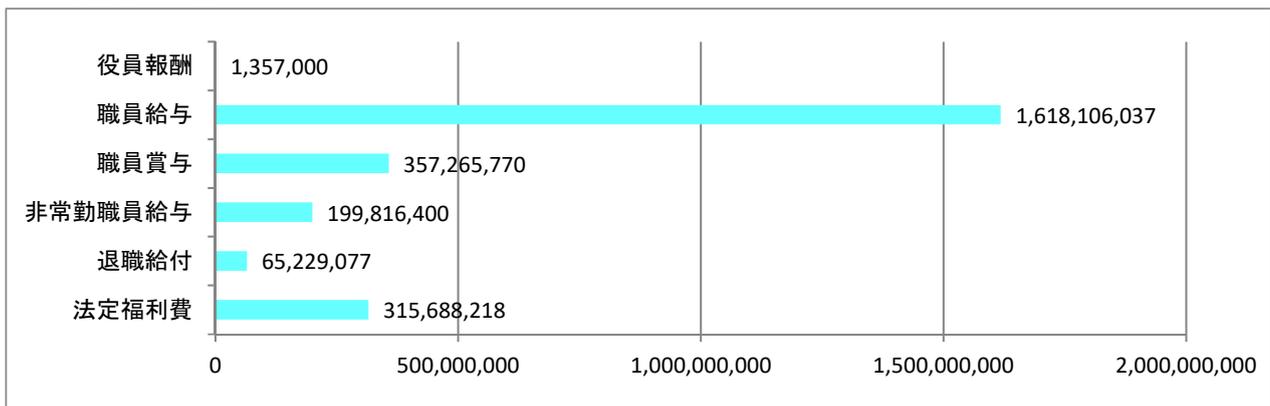
2. 事業活動による支出内訳

単位：円

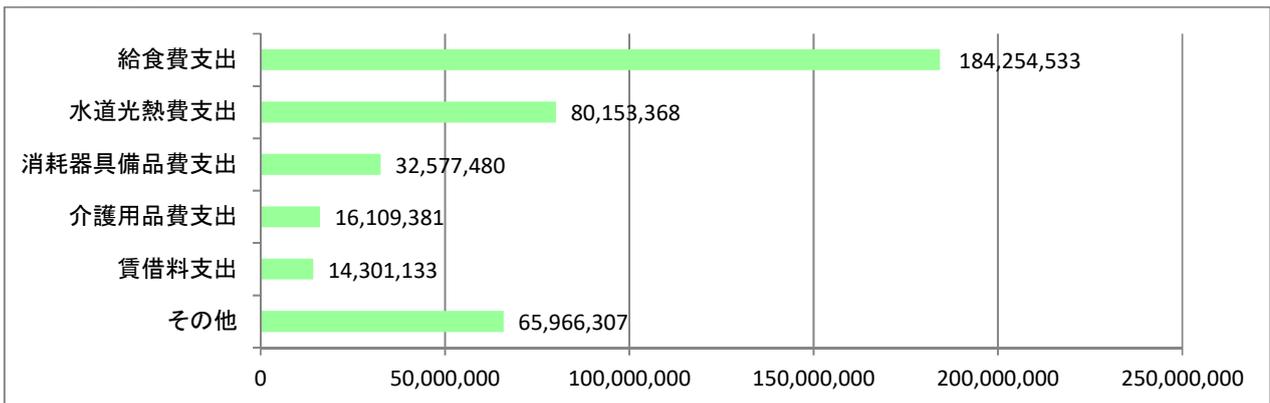
勘定科目	金額	率
人件費支出	2,557,462,502	77.44%
事業費支出	393,362,202	11.91%
事務費支出	308,319,039	9.34%
就労支援事業支出	27,569,812	0.83%
利用者負担軽減額	1,381,449	0.04%
支払利息支出	1,401,609	0.04%
その他の支出	12,949,385	0.39%
事業活動支出計	3,302,445,998	100.00%



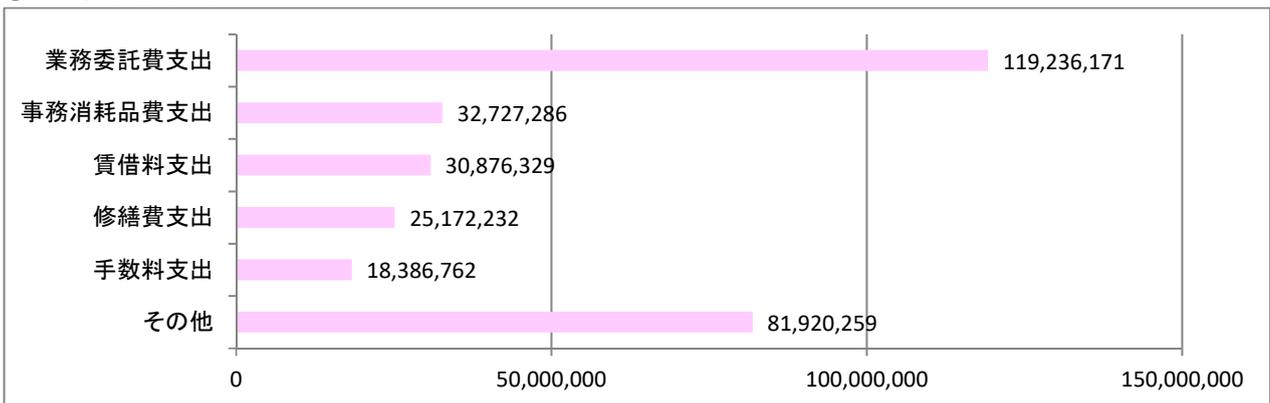
① 人件費支出の内訳



② 事業費支出の内訳

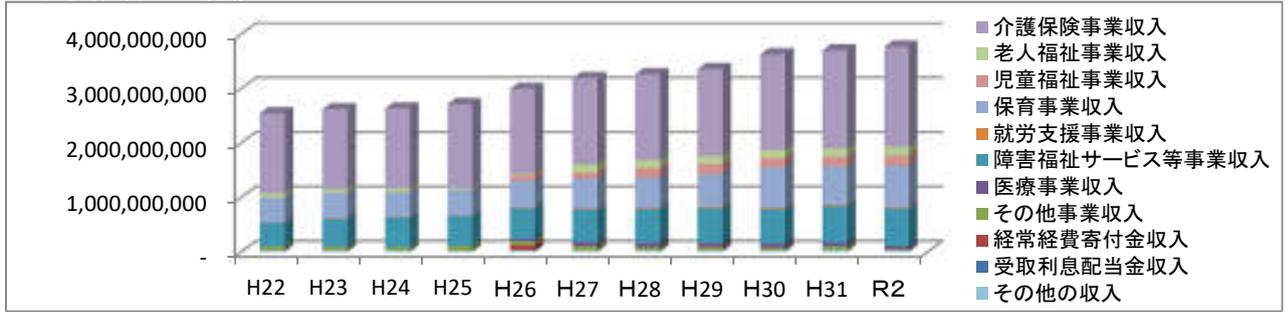


③ 事務費支出の内訳



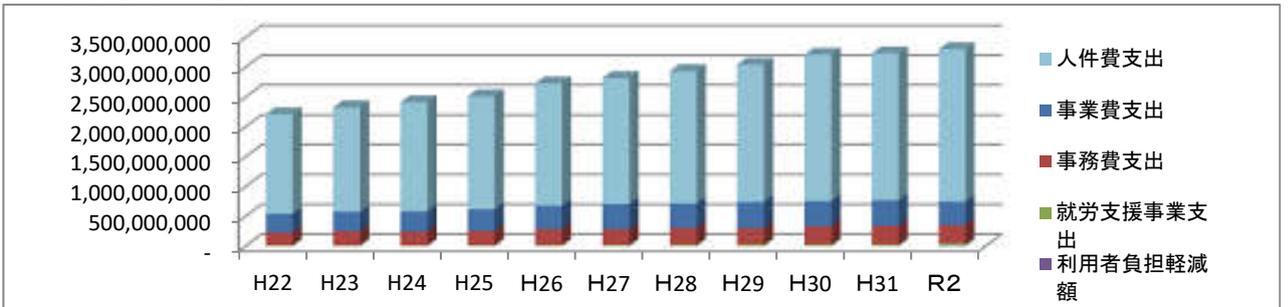
Ⅱ. 事業活動収支の推移(平成25年度より新会計基準適用 平成24年度以前は新基準に科目を振替て表示)

1. 事業活動収入の推移



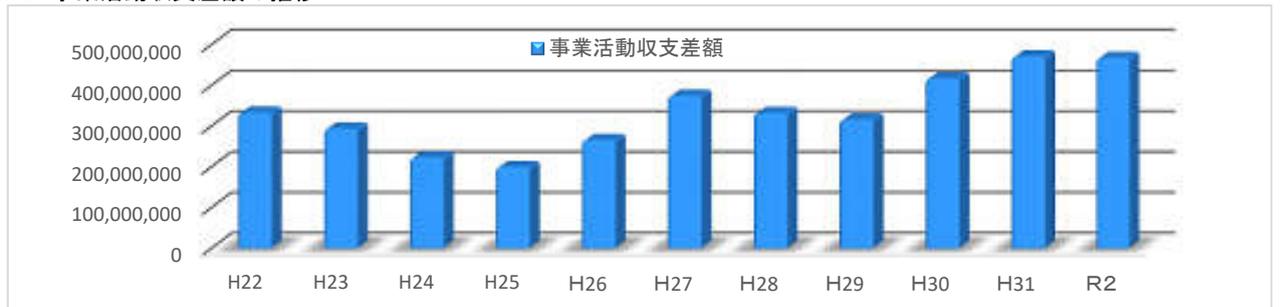
勘定科目	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	令和2年度
介護保険収入	1,573,624,938	1,595,656,878	1,753,665,426	1,802,877,203	1,839,091,175
老人福祉事業収入	149,930,445	150,342,310	156,879,347	156,861,910	165,649,263
児童福祉事業収入	173,811,208	189,474,431	166,280,544	181,362,403	181,939,095
保育事業収入	560,562,327	603,023,186	741,770,584	702,216,978	763,611,806
就労支援事業収入	19,399,415	22,091,238	22,000,235	21,833,568	23,005,365
障害福祉サービス等事業収入	617,845,343	628,544,637	630,979,738	668,816,649	692,367,249
医療事業収入	80,674,559	81,354,055	76,981,151	67,825,214	57,487,367
その他事業収入	59,020,394	54,738,021	43,910,872	65,340,192	12,847,862
経常経費寄付金収入	1,412,000	4,096,307	2,975,000	1,366,887	2,885,900
受取利息配当金収入	532,098	198,338	109,074	265,805	270,502
その他の収入	27,687,534	29,815,675	32,490,648	35,941,027	30,139,260
事業活動収入計	3,264,500,261	3,359,335,076	3,628,042,619	3,704,707,836	3,769,294,844

2. 事業活動支出の推移



勘定科目	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	令和2年度
人件費支出	2,216,463,453	2,306,307,692	2,455,076,324	2,464,694,736	2,557,462,502
事業費支出	413,014,643	437,903,181	425,274,572	434,010,148	393,362,202
事務費支出	278,447,888	272,990,956	304,267,569	307,343,363	308,319,039
就労支援事業支出	22,713,847	24,748,000	24,279,278	25,549,398	27,569,812
利用者負担軽減額	1,865,938	1,688,599	1,265,953	1,372,325	1,381,449
支払利息支出	-	-	-	-	1,401,609
その他の支出	752,286	589,172	1,707,666	1,475,104	12,949,385
事業活動支出計	2,933,258,055	3,044,227,600	3,211,871,362	3,234,445,074	3,302,445,998

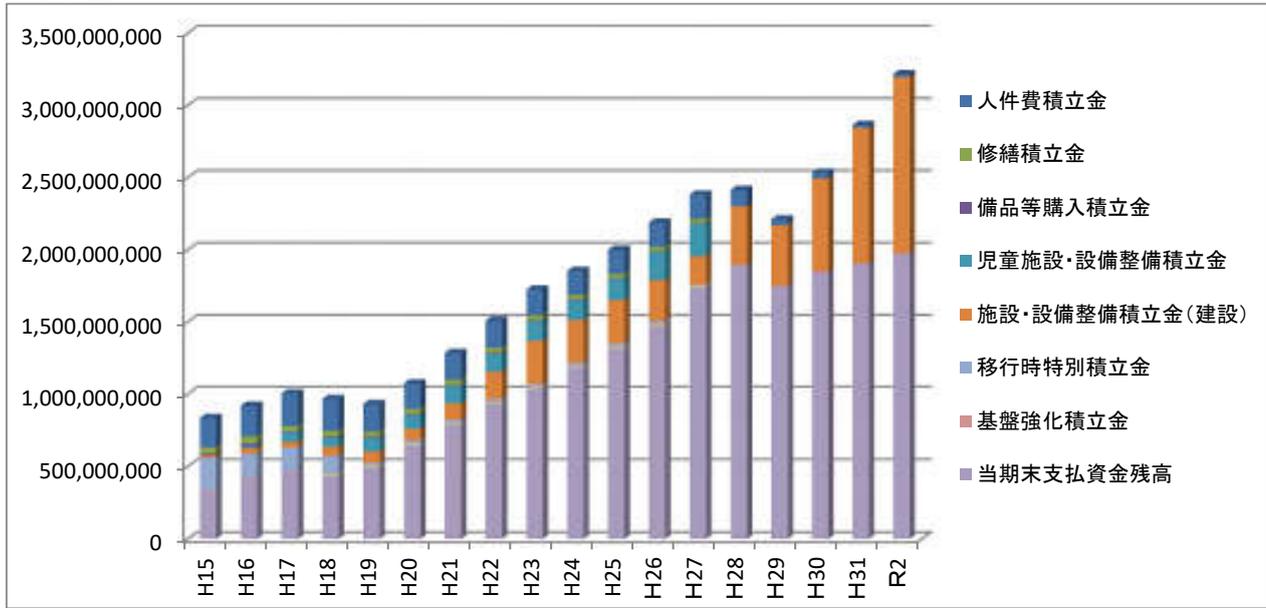
3. 事業活動収支差額の推移



勘定科目	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	令和2年度
事業活動収支差額	331,242,206	315,107,476	416,171,257	470,262,762	466,848,846

Ⅲ. 積立金等の推移(※平成28年度より児童施設・設備整備積立金と建設積立金を統合し施設・設備整備積立金とする)

1. 累積積立金等の推移



勘定科目	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	令和2年度
人件費積立金	114,137,000	40,790,000	40,790,000	20,790,000	20,790,000
修繕積立金			0	0	0
備品等購入積立金			0	0	0
児童施設・設備整備積立金			0	0	0
施設・設備整備積立金(建設積立金)	405,189,762	421,520,219	645,520,219	939,520,219	1,222,220,219
移行時特別積立金			0	0	0
基盤強化積立金			0	0	0
福祉の里推進活動積立金			0	0	0
当期末支払資金残高	1,896,121,048	1,748,716,019	1,848,088,254	1,904,791,874	1,974,454,925
合計	2,415,447,810	2,211,026,238	2,534,398,473	2,865,102,093	3,217,465,144

2. 当期資金差額の推移

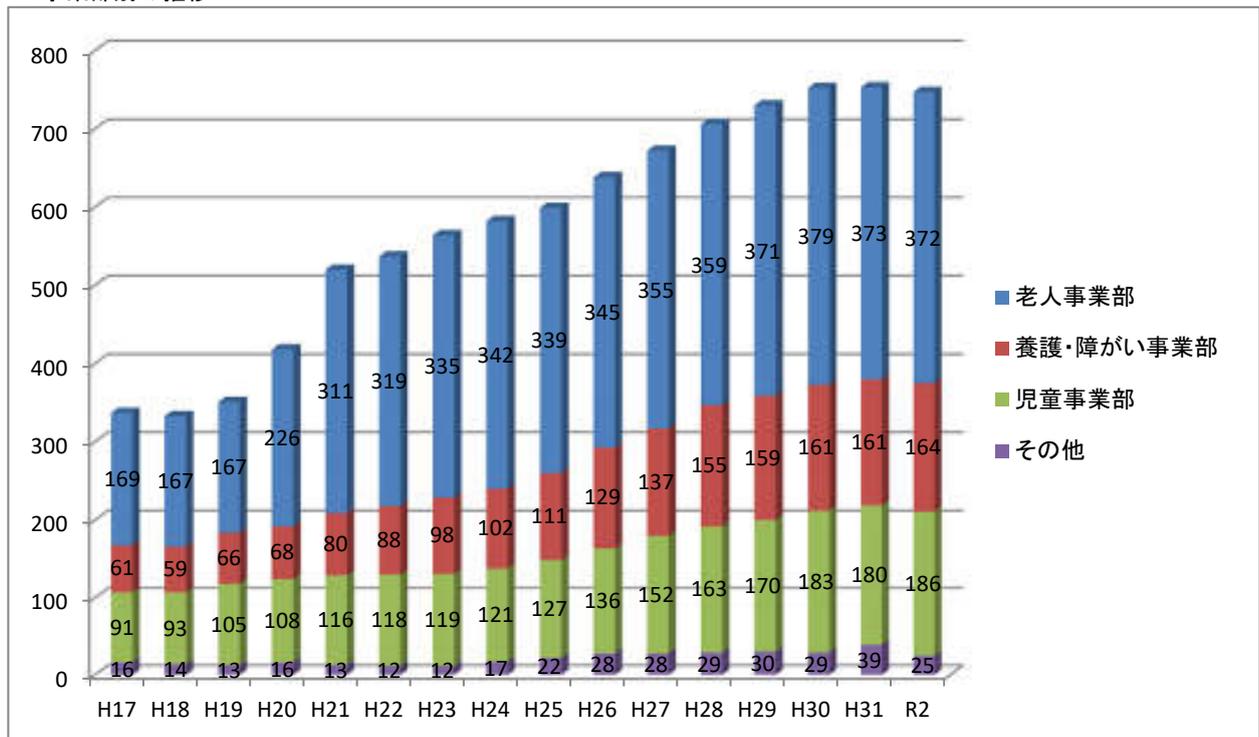


勘定科目	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	令和2年度
当期資金差額	32,571,347	-204,421,572	323,372,235	330,703,620	352,363,051

※ 当期資金差額は(当期積立預金積立額-当期積立預金取崩額)+当期資金収支差額

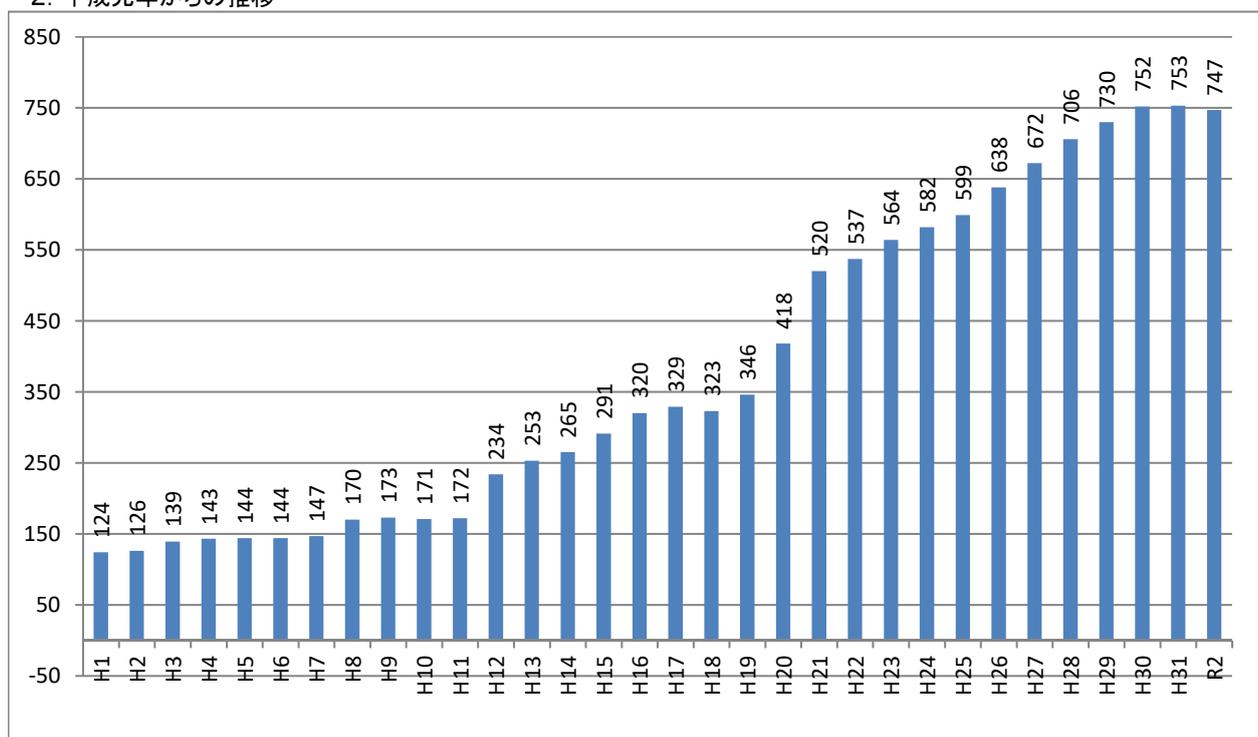
IV. 職員数の推移

1. 事業部別の推移



	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	令和2年度
老人事業部	355	359	371	379	373	372
養護・障がい事業部	137	155	159	161	161	164
児童事業部	152	163	170	183	180	186
その他	28	29	30	29	39	25
合計	672	706	730	752	753	747

2. 平成元年からの推移



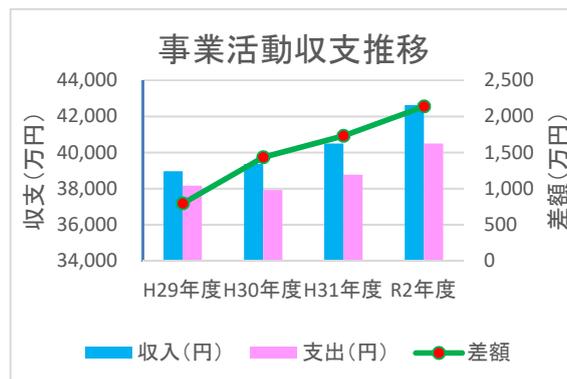
事業報告 : 松葉寮

事業活動収支推移

	H29年度	H30年度	H31年度	R2年度
収入(円)	389,548,099	393,605,860	404,928,860	426,246,478
支出(円)	381,587,628	379,256,207	387,636,242	404,874,467
差額	7,960,471	14,349,653	17,292,618	21,372,011

○状況

- ・今年度より、かえで(旧石城あんしんの家)が加わり全体では、収入、支出共に増となっている。
- ・広域特養、かえでについては収支差額がマイナスとなったが、昨年比ではマイナス幅が縮小した。地域特養と短期については、ほぼ横ばいとなっている。
- ・支出について、水道光熱費がエアコンの更新により大幅に経費が削減できている。



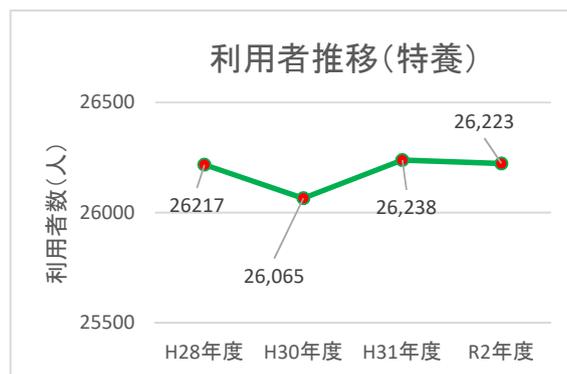
利用者推移

特養	H28年度	H30年度	H31年度	R2年度
利用者(人)	26,217	26,065	26,238	26,223
前年比(%)	102.0%	99.4%	100.7%	99.9%

短期	H29年度	H30年度	H31年度	R2年度
利用者(人)	5,792	5,792	6,226	6,211
前年比(%)	96.6%	100.0%	107.5%	99.8%

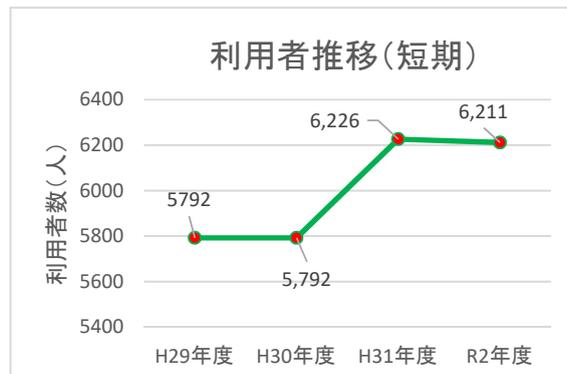
かえで	H29年度	H30年度	H31年度	R2年度
利用者(人)	1,293	1,220	808	1,045
前年比(%)	91.4%	94.4%	66.2%	129.3%

※令和2年度: 宇和ダイグループより(石城あんしんの家れんげ)



○状況

- ・特養、短期については昨年とほぼ横ばいで推移している。
- ・特養については、退所から次の入所までの間を短くなるよう、努力したこともあり昨年同様の利用者推移が維持することができた。
- ・かえでは、週複数回の利用者が増えたこともあり利用者数は増となった。

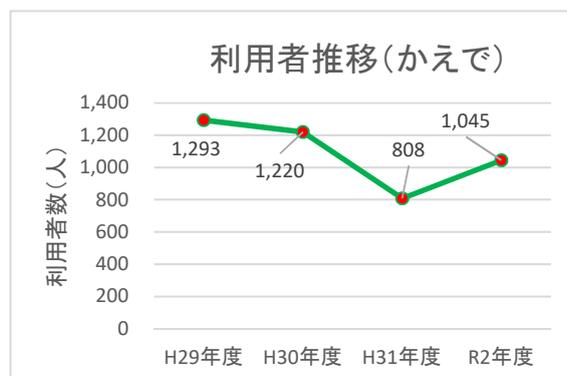


施設整備

- ・特殊浴槽入れ替え
- ・松葉寮内wi-fi工事(コロナ補助金)
- ・移乗用リフト2台(コロナ補助金)

人材育成・研修

- ・コロナウイルス感染症により、研修会が中止となるなか、オンライン研修に取り組むことができた。
- ・ノーリフティングケアの推進を図るための研修参加や、動画を活用した研修を活用し、施設での機器や移乗用具活用の定着が図れた。



トピックス

天皇陛下、御下賜金を拝受

事業報告 : 開明の杜

事業活動収支推移

	H29年度	H30年度	H31年度	R2年度
収入(円)	51,352,911	220,449,059	240,646,032	246,590,466
支出(円)	43,034,740	195,892,534	201,104,553	218,836,150
差額	8,318,171	24,556,525	39,541,479	27,754,316

○状況

開明の杜:平均要介護度4.37と重度化が進む中、平均28.2名/日、97%の高い稼働で一年を送ることができた。
 短期入所:10床を上手く稼働できたことで、利用数が増加し平均9.3人/日の利用があり、年間の平均稼働率は93.3%。
 訪問介護:低単位の総合事業利用者が多いことから、稼働率に比例するような収入には結び付けていない。身体介護の利用者確保を行い、安定した経営を目指したい。
 居宅:収支は若干減少したものの、安定した事業展開が行えている。

利用者推移

特養	H29年度	H30年度	H31年度	R2年度
利用者(人)	—	9,723	10,312	10,281
前年比(%)	—	—	106.1%	99.7%

短期	H29年度	H30年度	H31年度	R2年度
利用者(人)	—	2,670	3,253	3,407
前年比(%)	—	—	121.8%	104.7%

居宅	H29年度	H30年度	H31年度	R2年度
利用者(人)	2,698	2,703	2,758	2,628
前年比(%)	103.5%	100.2%	102.0%	95.3%

訪問介護	H29年度	H30年度	H31年度	H32年度
利用者(人)	443	366	418	514
前年比(%)	135.9%	82.6%	114.2%	123.0%

○状況

開明の杜:入退所数が6名、入院者は延べ289名であり、前年度とほぼ同じ稼働率を確保できている。
 短期入所:新規利用者の獲得は少なかったが、定期利用者の日程調整等が上手くできたことで延べ人数は微増。稼働率は93.3%と高い推移を維持できた。
 訪問介護:登録人数と利用回数の増加を図り、稼働率が上がった。土曜日を営業日として稼働したこと、三瓶担当者が宇和地区の訪問をサポート出来た事も要因にあげられる。
 居宅:コロナウイルス感染防止による影響や、死亡等による利用中止も重なり減少がみられた。

施設整備

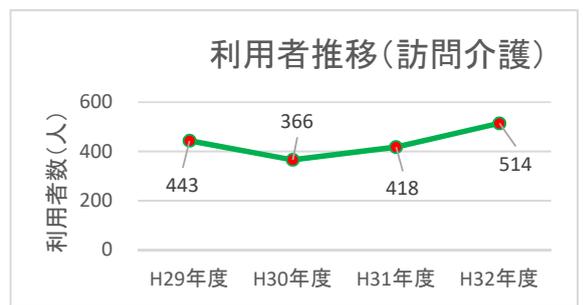
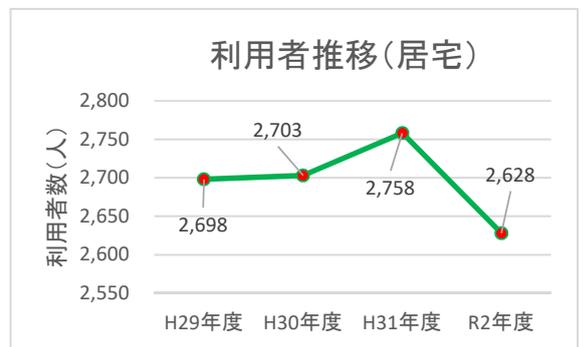
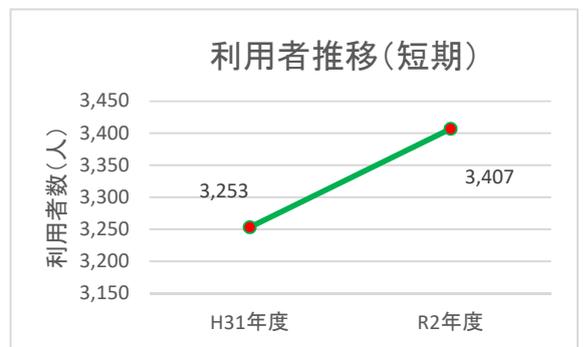
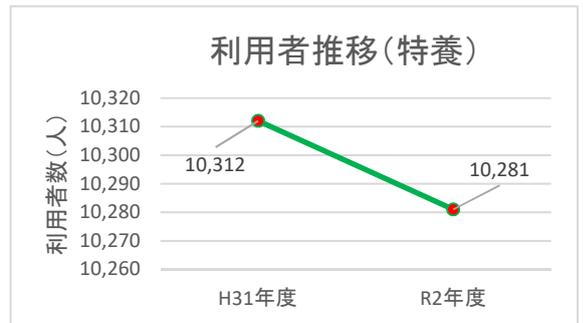
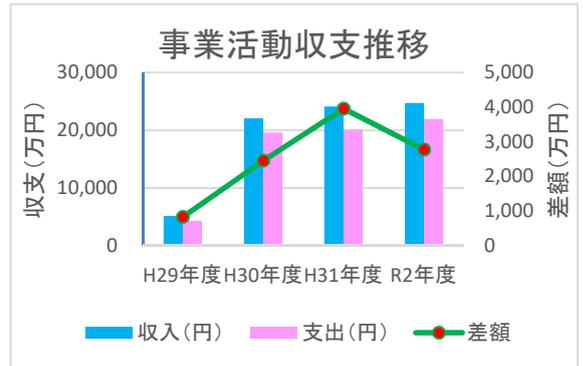
- ・Wi-Fi環境整備【全館対象】(緊急包括事業支援補助金)
- ・ドライフォグ除菌機【除菌用ユニット】(同上)
- ・空気清浄機【16台:居室・リビング・会議室等】(同上)
- ・原付バイク、電動自転車【訪問介護で使用】(同上)

人材育成・研修

・年間を通じて研修会を計画し、居宅、訪問介護の事業所職員も参加できる体制で実施している。外部への研修参加については、コロナウイルスが大きく影響し例年の2割程度の参加に終わっている。月に1度は施設内研修を実施し、レベルが低下しないよう進めている。

トピックス

- ・開設3年が経過、地域に根差した施設となるよう、交流スペースの開放・イベントの開催などを行ってきたが、令和2年度はコロナの影響で中止とした。
- ・入居者の面会についても、細心の注意と判断を繰り返しながら面会制限を続けている。



事業報告 : 皆楽園

事業活動収支推移

	H29年度	H30年度	H31年度	R2年度
収入(円)	312,795,815	319,942,689	325,622,966	327,692,886
支出(円)	284,749,063	285,953,158	287,876,915	298,175,113
差額	28,046,752	33,989,531	37,746,051	29,517,773

○状況

収入増となつてはいるものの支出も増え差額は減になっている。開設後13年が経過し、建物や機具の修理が多くなっている。また日常使用している消耗品がコロナの影響で高額となり、経営に影響が出ている。

施設・設備整備積立金 : 13,000,000円

利用者推移

特養	H29年度	H30年度	H31年度	R2年度
利用者(人)	17,834	18,000	17,995	17,811
前年比(%)	99.4%	100.9%	100.0%	99.0%

短期	H29年度	H30年度	H31年度	R2年度
利用者(人)	2,773	2,662	2,664	2,689
前年比(%)	101.8%	96.0%	100.1%	100.9%

通所	H29年度	H30年度	H31年度	R2年度
利用者(人)	4,065	3,618	4,220	4,394
前年比(%)	87.3%	89.0%	116.6%	104.1%

○状況

入所は前年比99%となっている。入院者の増加や新入所の準備期間が若干長引いたことが原因。短期は前年度と同じ高い数字を出している。デイも同様である。コロナ禍の中、スケジュール調整や安全対策を行いつつ、ここまで数字を維持できたことは職員の努力のおかげと感謝している。

施設整備

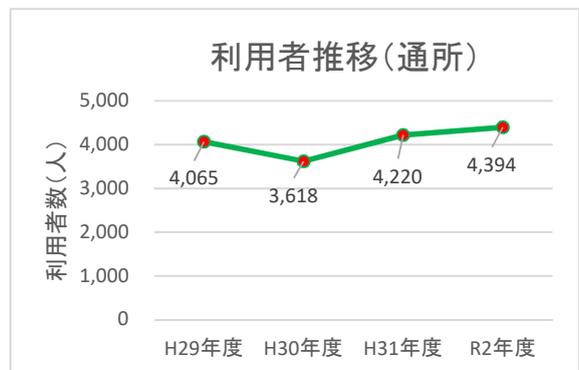
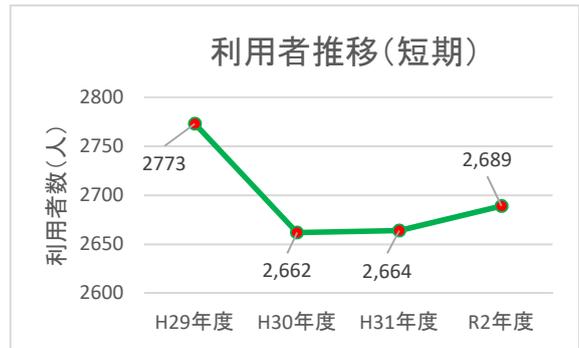
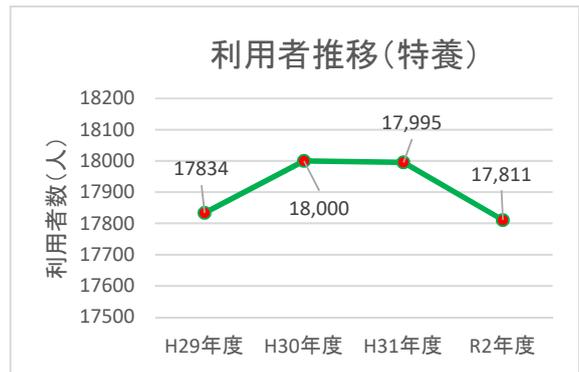
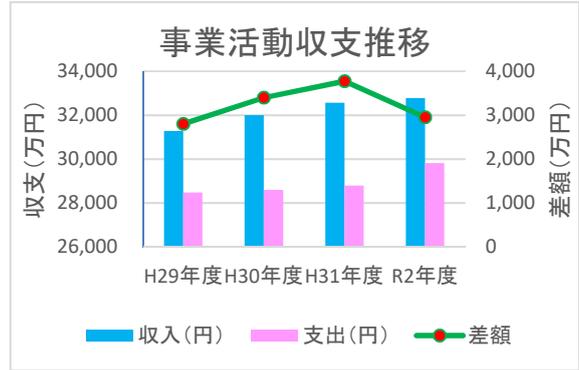
- ・福祉車両 ルークス
- ・公用車セレナ リース契約
- ・厨房内食器洗浄機
- ・車椅子用体重計
- ・ベッドキャスター修繕
- ・施設内照明器具LED工事
- ・個浴用シャワーチェア3台

人材育成・研修

コロナの影響で法人以外の外部研修会の開催が少なく参加出来ない。必須の研修もあるので、オンライン研修を中心にして環境を整えていきたい。

トピックス

ミャンマーからの技能実習生2名が令和3年1月より就労。日本の文化や生活を楽しみながら、介護技術と日本語を日々学んでいる。



事業報告 : あけはま荘

事業活動収支推移

	H29年度	H30年度	H31年度	R2年度
収入(円)	407,012,044	421,339,735	428,565,088	434,268,753
支出(円)	360,006,399	363,921,771	376,395,401	391,141,364
差額	47,005,645	57,417,964	52,169,687	43,127,389

○状況

令和2年度は少なからず新型コロナウイルスの影響を受けた年だった。特に11月は特養の利用者が濃厚接触を疑われたため月をまたいだ12日間通所事業所に隔離。その間の通所利用予定者約170名の利用をお断りした。しかし、その後通所介護で新規契約者が増えたことから年間トータルではグループ収入で前年比570万円の収入増。収支差額は同約900万円のマイナスとなったがこれは技能実習生増員を含め人件費の増及び感染症対策費用のかさみが原因。

施設・設備整備積立金 : 20,000,000円

利用者推移

特養	H29年度	H30年度	H31年度	R2年度
利用者(人)	30,193	31,077	30,723	30,576
前年比(%)	98.4%	102.9%	98.9%	99.5%

短期	H29年度	H30年度	H31年度	R2年度
利用者(人)	1,433	1,677	1,728	1,739
前年比(%)	101.1%	117.0%	103.0%	100.6%

通所	H29年度	H30年度	H31年度	R2年度
利用者(人)	4,530	4,401	4,379	4,306
前年比(%)	93.9%	97.2%	99.5%	98.3%

○状況

令和2年度の特養稼働率は98%台で推移した。全国平均(約94%)と比較すれば高水準だが当施設過去4年の実績と比較した場合最も低い値となっている。最たる理由は入院者の増加である。令和3年1月当初より4名既往症の増悪により長期入院を余儀なくされた(延べ人数約350名)。その空床分を短期入所サービスで補充させる結果となっている。

施設整備

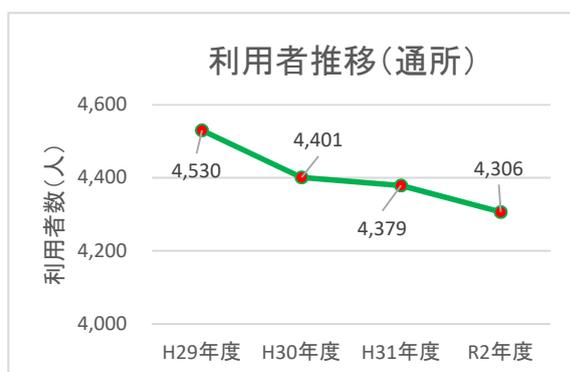
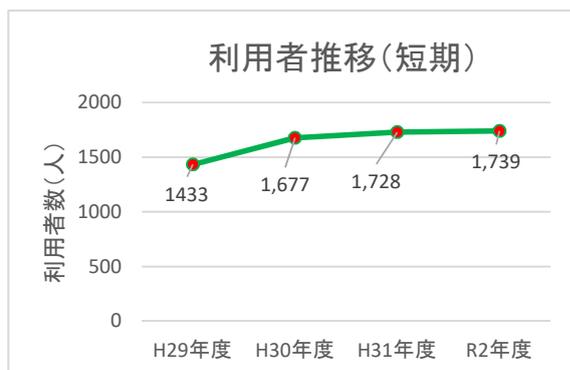
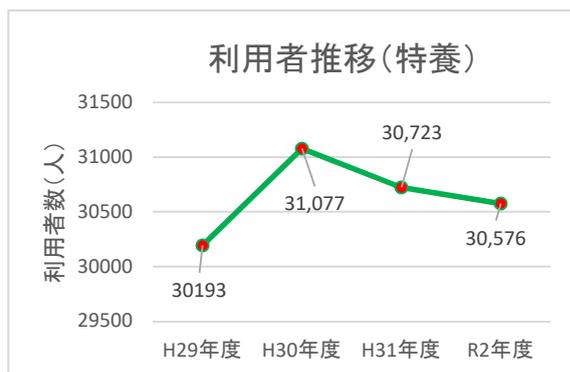
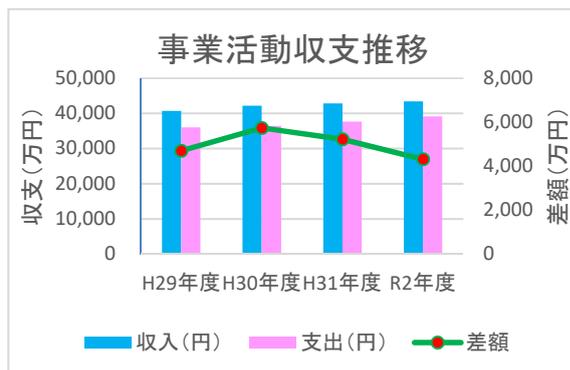
- ・トイレ改修(利用者・職員用)
- ・トイレ空調新設
- ・屋上防水工事

人材育成・研修

- ・OJTの推進
- ・内部職員会

トピックス

- ・11月21日から2週間デイサービスを休止。特養利用者1名にコロナウイルス陽性者との濃厚接触が疑われデイサービスの事業所で隔離対応したため。
- ・市内GHのクラスター発生に伴う支援活動に係り、自らの申し出により介護職員1名を派遣した。



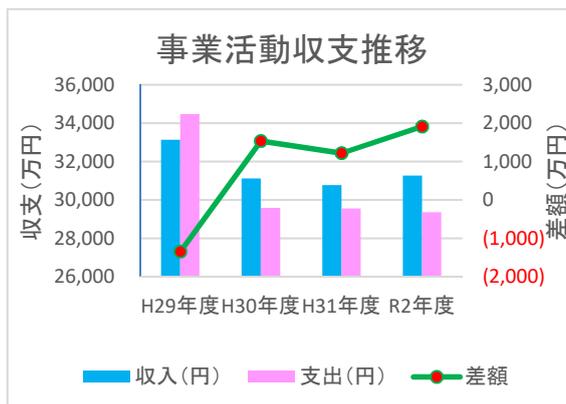
事業報告 : 宇和デイ

事業活動収支推移

	H29年度	H30年度	H31年度	R2年度
収入(円)	331,265,287	311,235,883	307,771,398	312,686,578
支出(円)	344,706,655	295,877,578	295,567,894	293,543,142
差額	△ 13,441,368	15,358,305	12,203,504	19,143,436

○状況

宇和デイグループの事業活動収支は安定。要因は、福祉の里、あんしんの家の利用者数増による。ななほし中川は利用者数減、うつのみやさんの家は職員1名増で厳しい事業活動収支となる。歩も利用者数の減少により厳しい事業活動収支となった。游の里は令和2年2月28日事業を撤退。石城あんしんの家は令和2年4月より松葉寮グループへ移行。次年度においても同様の推移が期待できる。

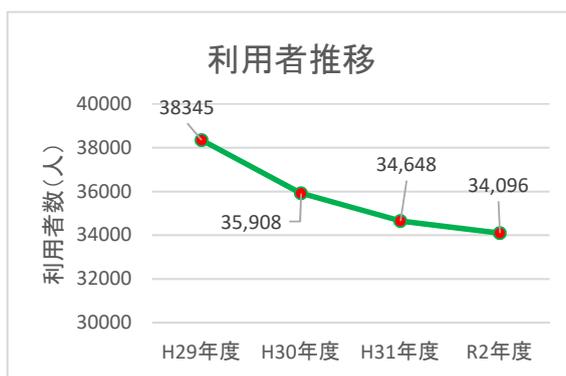


利用者推移

	H29年度	H30年度	H31年度	R2年度
利用者(人)	38,345	35,908	34,648	34,096
前年比(%)	104.3%	93.6%	96.5%	98.4%

○状況

宇和デイグループの利用者数は、游の里が令和2年2月28日事業を撤退。石城あんしんの家が宇和デイグループから外れたことで減少しているが、前年度と比較し、福祉の里1,507名増。ななほし中川305名減。うつのみやさんの家5名増。あんしんの家116名増。歩(通所)892減。歩(訪問看護)2,784増となっている。



事業所別 事業活動収支推移

※令和2年度: 石城あんしんの家れんげ 松葉寮グループへ

事業所	H29年度	H30年度	H31年度	R2年度
福祉の里	収入(円) 59,335,861	65,435,226	97,206,512	114,227,967
	支出(円) 66,124,818	62,086,097	85,908,004	95,577,692
	差額 △ 6,788,957	3,349,129	11,298,508	18,650,275
ななほし中川	収入(円) 42,167,515	49,507,120	51,196,577	49,824,631
	支出(円) 38,631,731	41,187,067	41,611,518	44,584,422
	差額 3,535,784	8,320,053	9,585,059	5,240,209
うつのみやさんの家	収入(円) 35,508,057	37,314,742	36,731,923	38,833,743
	支出(円) 33,445,193	35,305,278	33,332,938	39,660,472
	差額 2,062,864	2,009,464	3,398,985	△ 826,729
游の里	収入(円) 59,492,512	45,348,136	17,856,094	
	支出(円) 67,488,369	47,763,708	25,731,157	
	差額 △ 7,995,857	△ 2,415,572	△ 7,875,063	0
あんしんの家	収入(円) 44,833,496	47,647,198	47,897,528	51,440,375
	支出(円) 38,558,188	38,299,389	40,998,698	46,764,265
	差額 6,275,308	9,347,809	6,898,830	4,676,110
歩(通所)	収入(円) 25,278,192	29,109,848	41,822,580	39,249,734
	支出(円) 27,538,504	27,626,216	50,371,377	46,188,280
	差額 △ 2,260,312	1,483,632	△ 8,548,797	△ 6,938,546
歩(訪問看護)	収入(円) —	—	3,770,241	19,110,128
	支出(円) —	—	6,451,668	20,768,011
	差額 —	—	△ 2,681,427	△ 1,657,883

事業報告 : 福祉の里デイ

事業活動収支推移

	H29年度	H30年度	H31年度	R2年度
収入(円)	59,335,861	65,435,226	97,282,012	114,227,967
支出(円)	66,124,818	62,086,097	81,822,526	95,577,692
差額	△ 6,788,957	3,349,129	15,459,486	18,650,275

○状況

今年度10,000千円近い人件費増が見込まれたが、それを上回る収入を目指した。フロアリビング及び脱衣室床面積増加等を目的とした改修にて定員45名とし、地域ニーズに見合う規模拡大と実績増を図った。

また、夜勤のない事業種別の特性を活かし、特に育児中の女性職員が適正なワークライフバランスのとれる職場環境を目指し、有給取得や時間外勤務抑制に留意し離職率0などの一定の効果が得られている。

利用者推移

通所	H29年度	H30年度	H31年度	R2年度
利用者(人)	5,025	6,013	8,981	10,488
前年比(%)	85.1%	119.7%	149.4%	116.8%

○状況

通所施設でできる限りの療養管理や自立支援、リラクゼーションなど、医療・介護分野の専門性の高いケアを提供し、適切に医療機関と連携しながら、本来必要としない入院加療や施設入所を最小限に留め、安定した在宅介護の支援ができていると考えている。また、その取り組みが地域や関係機関に浸透し一定の評価が得られている。第一興商のレクリエーション及び介護予防体操等の対応システムの活用、脳トレーニングドリルや屋外で過ごす時間を設けるなど、1日を通して楽しめる余暇活動を心がけ日課を見直すなど、利用キャンセルの減少に取り組んだ。

施設整備

・主な固定資産取得及び修繕工事

車椅子リフト車	3,560,200円
フロアリビング等改修工事	2,970,000円
男性トイレ便器改修	106,160円

・新型コロナウイルス感染症対策支援事業活用

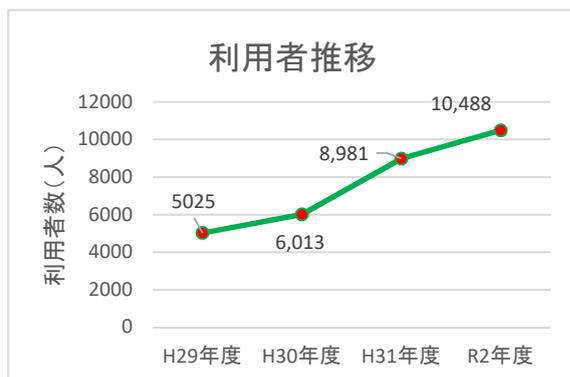
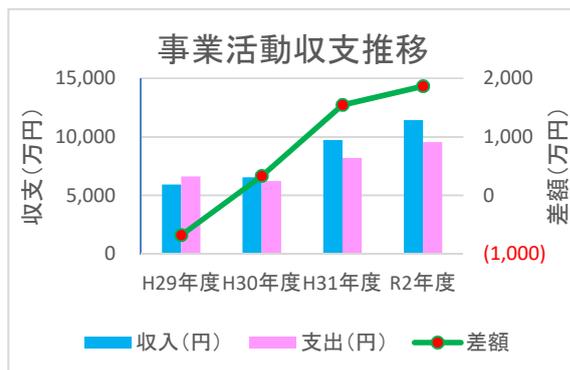
ダイニングチェア
Bluetooth内蔵バイタル機器 (非接触型体温計・上腕及び手首血圧計)
パーテーション
プラスチックグローブ

人材育成・研修

法人や事業所内研修のみ。

施設長及び副施設長は介護報酬改定等無料ウェブセミナーを多数視聴。

トピックス



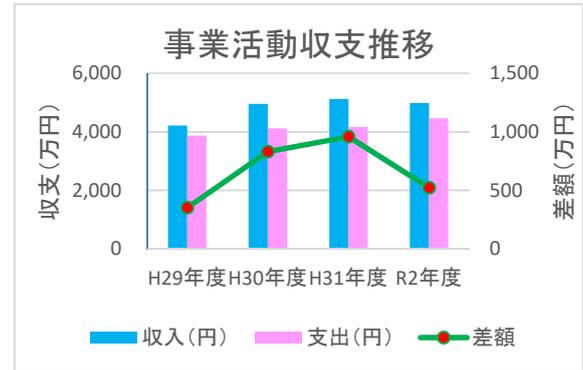
事業報告 : ななほし中川

事業活動収支推移

	H29年度	H30年度	H31年度	R2年度
収入(円)	42,167,515	49,507,120	51,196,577	49,824,631
支出(円)	38,631,731	41,187,067	41,611,518	44,584,422
差額	3,535,784	8,320,053	9,585,059	5,240,209

○状況

短期は利用者増であったが、通所が大きく利用者減となったことで収入も減となった。支出では人件費が約500万円増となった。



利用者推移

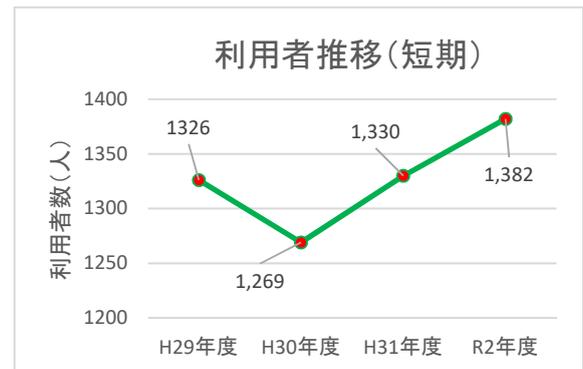
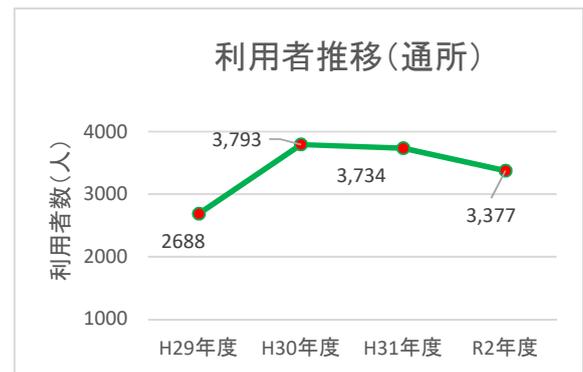
通所	H29年度	H30年度	H31年度	R2年度
利用者(人)	2,688	3,793	3,734	3,377
前年比(%)	110.4%	141.1%	98.4%	90.4%

短期	H29年度	H30年度	H31年度	R2年度
利用者(人)	1,326	1,269	1,330	1,382
前年比(%)	107.4%	95.7%	104.8%	103.9%

○状況

通所は週7回デイ利用されていた方が、年度初めに逝去されたことで大きく利用者減となった。その後、新規利用者の受け入れもしたが、本人の都合で利用につながらない方が続いた。秋頃には利用者増となりつつあったが、冬にかけて入院者や入所者が続いたことで利用者減となってしまった。

短期は利用希望者が多く、デイ利用者でショートを利用する方も多いことで、利用者増となった。



施設整備

トイレタンク内の部品交換
軽自動車の修理
洗濯機の修理

人材育成・研修

法人内各種研修
宇和デイグループ合同職員会

トピックス

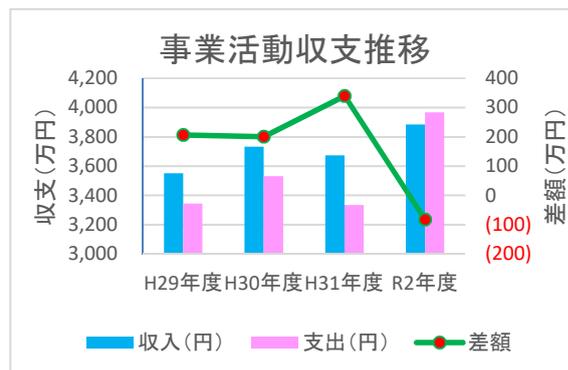
事業報告 : うつのみやさんの家

事業活動収支推移

	H29年度	H30年度	H31年度	R2年度
収入(円)	35,508,057	37,314,742	36,731,923	38,833,743
支出(円)	33,445,193	35,305,278	33,332,938	39,660,472
差額	2,062,864	2,009,464	3,398,985	△ 826,729

○状況

・令和2年度より職員が1名増えたことにより、人件費が上昇した。令和3年度より職員が1名減ることにより、収支の改善が見込まれる。看護師が異動となり、医療連携体制強化加算Ⅰの算定は、無しとなった。

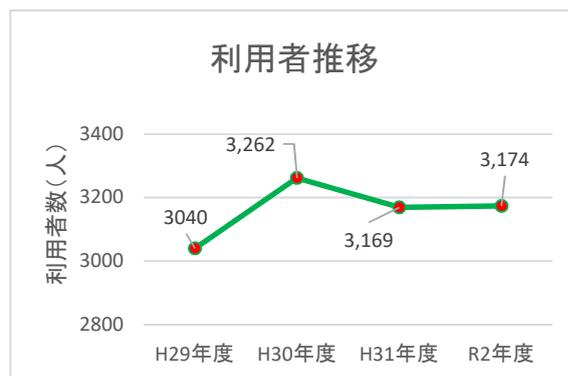


利用者推移

G H	H29年度	H30年度	H31年度	R2年度
利用者(人)	3,040	3,262	3,169	3,174
前年比(%)	96.0%	107.3%	97.1%	100.2%

○状況

・利用者が入退院を繰り返したことで、前年と同様の結果となった。ただし、入退院を繰り返す方が他施設に入所したり、逝去されたことで、現在の利用者の健康状態は比較的安定している。主治医との連携や日頃の健康管理を徹底して、利用率を安定させたい。



施設整備

・水害や火災時の避難用スロープが完成。隣接するななほし中川まで、車椅子を使って避難することが可能となった。

人材育成・研修

- ・法人内各種研修
- ・宇和デイグループ合同職員会

トピックス

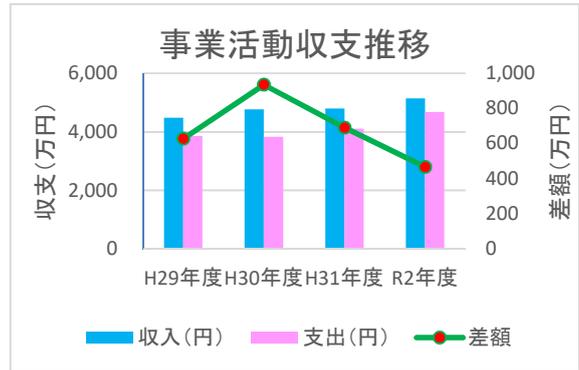
事業報告 : あんしんの家

事業活動収支推移

	H29年度	H30年度	H31年度	R2年度
収入(円)	44,833,496	47,647,198	47,897,528	51,440,375
支出(円)	38,558,188	38,299,389	40,998,698	46,764,265
差額	6,275,308	9,347,809	6,898,830	4,676,110

○状況

12月頃から3月にかけて他施設への入所や逝去される方が相次ぎ利用率の低下がみられたが年間を通しては利用率が高くなっている。支出については移転してから10年以上が経ち修繕や備品の買い替えが多くなってきているように感じる。今後も修繕・買い替えは免れないので、キントーン等で利用者の空き状況を随時更新しケアマネと連携を取りながら新規利用者の受け入れを積極的に行っていきたい。



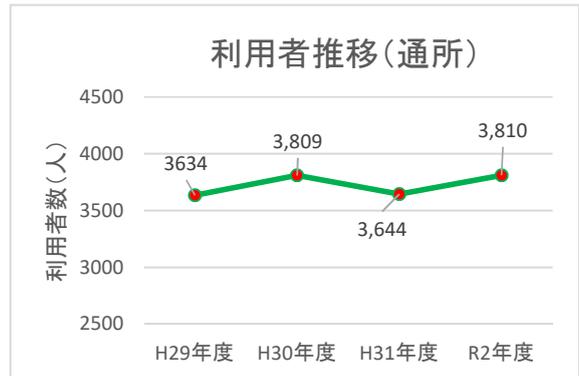
利用者推移

通所	H29年度	H30年度	H31年度	R2年度
利用者(人)	3,634	3,809	3,644	3,810
前年比(%)	118.3%	104.8%	95.7%	104.6%

短期	H29年度	H30年度	H31年度	R2年度
利用者(人)	1,120	1,119	1,208	1,158
前年比(%)	107.4%	99.9%	108.0%	95.9%

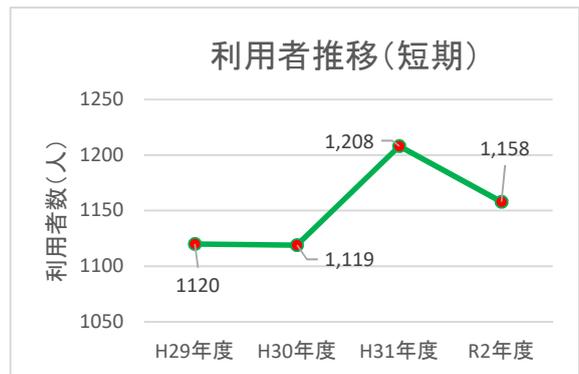
○状況

デイサービスは年間延べ利用者数が3810名で昨年度に比べ166名増となり昨年度と同数の利用者数に回復した。逆にショートステイは特養や他施設へ入所をされる方が多く昨年度に比べ50名の減となっている。全体的に平均年齢が高く今後も利用を中止になる方が多くなるのではと推測している。今年度に引き続き積極的な受け入れを行っていきたいと考える。



施設整備

- ・IHクッキングヒーターの買い替え
- ・ベッドの買い替え
- ・テレビ購入



人材育成・研修

法人内各種研修
宇和デイグループ合同職員会

トピックス

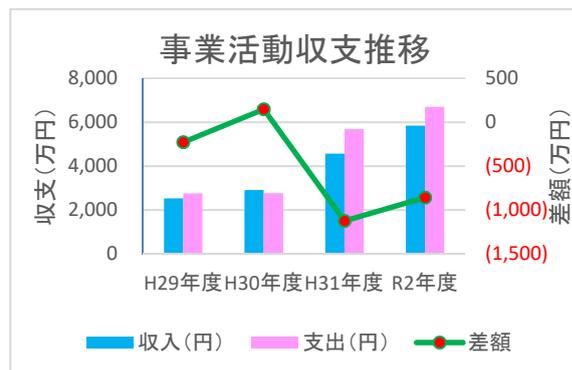
事業報告 : 歩

事業活動収支推移

	H29年度	H30年度	H31年度	R2年度
収入(円)	25,278,192	29,109,848	45,592,821	58,359,862
支出(円)	27,538,504	27,627,622	56,823,045	66,956,291
差額	△ 2,260,312	1,482,226	△ 11,230,224	△ 8,596,429

○状況

訪看の契約が増えてはいるが、デイ・訪看ともに新型コロナウイルスの感染予防のため、利用者が減少。その影響で、予想を下回る収入となった。



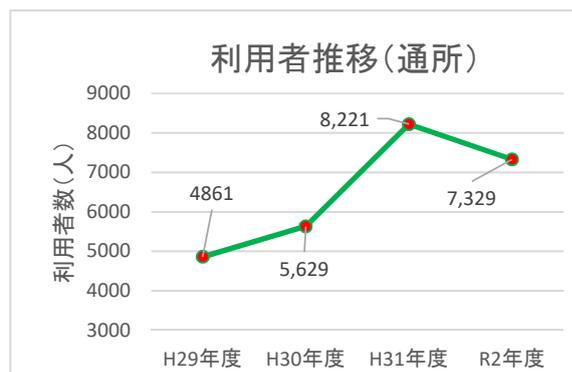
利用者推移

通所	H29年度	H30年度	H31年度	R2年度
利用者(人)	4,861	5,629	8,221	7,329
前年比(%)	117.3%	115.8%	146.0%	89.1%

訪問看護	H29年度	H30年度	H31年度	R2年度
利用者(人)	—	—	594	3,378
前年比(%)	—	—	—	568.7%

○状況

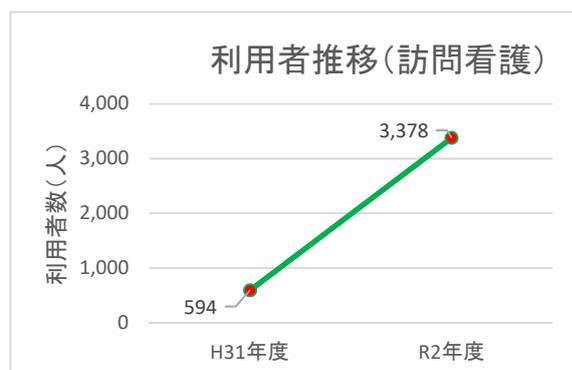
デイ歩は、要介護1、2や要支援の利用者が多く、登録は前年度より増えているが、コロナ感染予防のためお休みされる方が想像以上に多かった。訪看は利用者が増えてきているが、デイ同様に在宅でのリハビリ患者が多いため、接触を減らす目的での休みも出ている。



施設整備

人材育成・研修

法人内研修は参加しているが、県内外の研修会や勉強会への出席は中止している。外部講師の研修会は、外部の出席者の参加はお断りして実施した。



トピックス

令和3年度より、デイサービス歩の定員を20名に、職員を1名減にする。

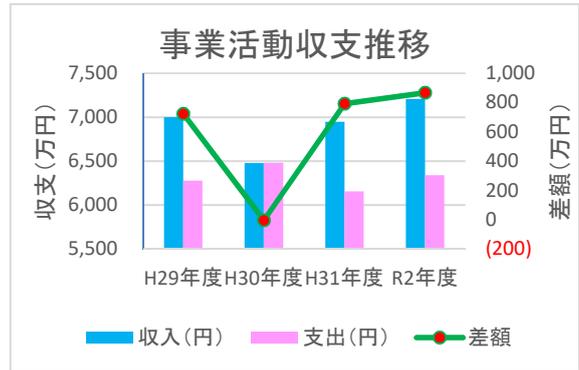
事業報告 : ケアハウスれんげ

事業活動収支推移

	H29年度	H30年度	H31年度	R2年度
収入(円)	69,997,768	64,756,493	69,480,952	72,064,278
支出(円)	62,755,209	64,789,413	61,556,821	63,386,384
差額	7,242,559	△ 32,920	7,924,131	8,677,894

○状況

- ・原因: ベースアップによる人件費の増額はあったが、稼働率が99.0%と上昇したため増収となった。
- ・動向: 平均年齢90才を目前にし、認知症の進行や身体機能の低下が顕著になり健康維持が困難となる。
- ・積立金等: 固定資産取得や大規模改修が比較的少なかったため、積立金の取り崩しはなく支払資金残高が増額となった。

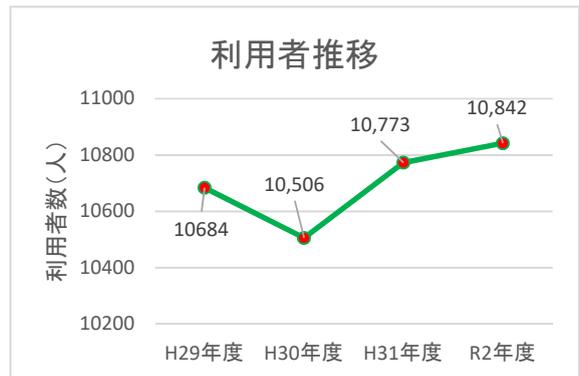


利用者推移

軽費	H29年度	H30年度	H31年度	R2年度
利用者(人)	10,684	10,506	10,773	10,842
前年比(%)	101.3%	98.3%	102.5%	100.6%

○状況

- ・原因: 入院者8名(前年度4名)のうち、10日間以上の入院者5名(前年度3名)ではあったが、ご逝去による退去が0名(前年度3名)であったため利用者数の増加となった。
- ・ニーズ等: 待機者として約100名の登録があり、前年度より20名程度増加している。



施設整備

- ・居室エアコン更新(個室2台)
- ・ノートパソコン1台(新型コロナ支援金)
- ・娯楽室床改修工事(新型コロナ支援金)

人材育成・研修

- ・新型コロナ対策eラーニング
- ・高齢者虐待防止に関する研修
- ・事故防止対策委員会(ヒヤリハットの分析)ほか

トピックス

- ・コロナ禍によりイベント行事の中止や面会の制限など、ご不自由をおかけすることとなったが、感染防止対策を徹底し工夫をしながら、外出ドライブや玄関前での花見などで気分転換を図っていただいた。
- ・ショッピング外出が中止となったが、巡回移動販売車に立ち寄っていただくことになり好評を得ている。
- ・行事や広報誌発行ごとにホームページを更新し、疎遠になりがちな家族へ生活の様子を発信することができた。

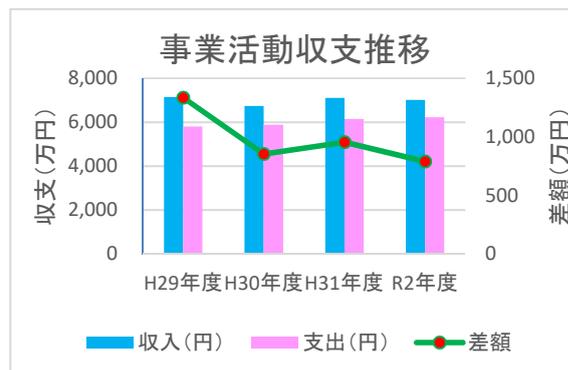
事業報告 : ケアハウスはまゆう

事業活動収支推移

	H29年度	H30年度	H31年度	R2年度
収入(円)	71,355,964	67,315,460	71,025,376	70,073,307
支出(円)	58,018,938	58,780,874	61,476,961	62,179,617
差額	13,337,026	8,534,586	9,548,415	7,893,690

○状況

対前年比では微減であった。稼働率は安定推移したものの一般入所者の比率が高く収入に伸びを欠いた。また、人件費の増加等の理由により収益が圧縮されている。今後は介護保険対象となる特定利用者の確保を目指したい。

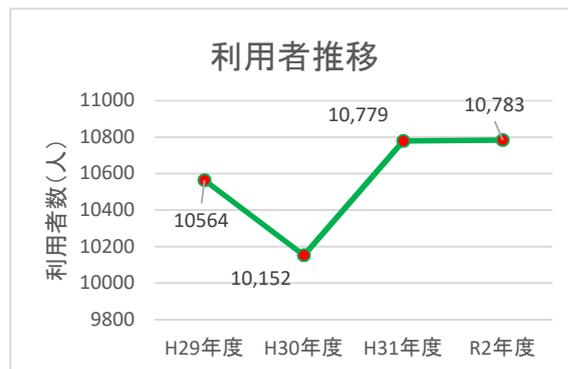


利用者推移

軽費	H29年度	H30年度	H31年度	R2年度
利用者(人)	10,564	10,152	10,779	10,783
前年比(%)	98.6%	96.1%	106.2%	100.0%

○状況

年間を通じ体調を崩す利用者が少なく稼働率は安定していた。引き続き、体調管理に努めていきたい。



施設整備

- ・空調更新(脱衣室・娯楽室)

人材育成・研修

- ・OJTの推進
- ・内部職員会

トピックス

事業報告 : 三楽園

事業活動収支推移

	H29年度	H30年度	H31年度	R2年度
収入(円)	118,665,771	120,828,245	120,759,139	130,253,682
支出(円)	104,575,659	107,178,662	111,332,525	121,405,961
差額	14,090,112	13,649,583	9,426,614	8,847,721

○状況

- ・収入前年度比較108%増は、令和2年度から障害者支援加算を取得したことにより増収となった。
- ・支出前年度比109%増は、人件費ベースアップによる増と施設老朽化に伴う修繕費の増額によるものである。

施設・設備整備積立金 : 6,000,000円

利用者推移

養護	H29年度	H30年度	H31年度	R2年度
利用者(人)	17,695	17,288	17,314	16,949
前年比(%)	100.1%	97.7%	100.2%	97.9%

○状況

- ・年間延べ入院人数1,324名と前年度に比べ、加齢とともにADLの低下した利用者、精神疾患での長期入院者の増が、利用者年間延べ人員の減員につながった。

施設整備

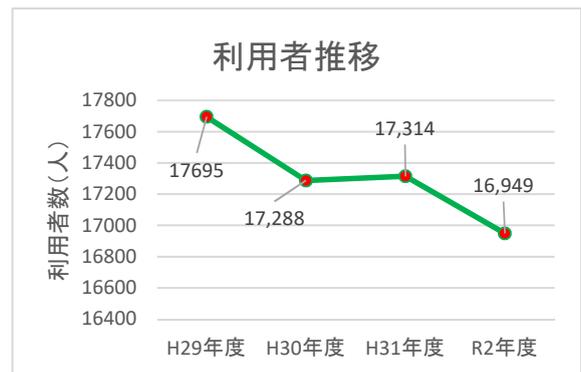
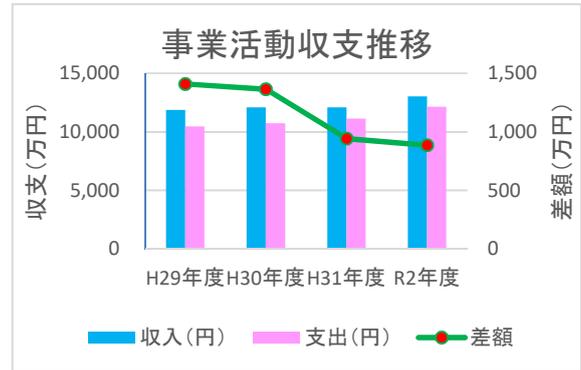
- ・汚物除去機 154万
- ・Wi-Fi機器 14万
- ・ノートパソコン 15万6千円
- ・ワンタッチテント 17万

人材育成・研修

- ・身体拘束適正化に関する研修(リスクマネジメント)
- ・土砂災害防災訓練
- ・接遇研修会
- ・火災避難訓練
- ・救急救命講習会
- ・感染症研修会
- ・原子力災害訓練
- ・新型コロナ対策研修会

トピックス

- ・令和2年10月15日(木)
三瓶小学校4年生2クラス計36名を対象として介護教室を開催。、高齢者への接し方、認知症の理解、高齢者疑似体験を行い、介護の魅力を伝える。



事業報告 : 松葉学園

事業活動収支推移

	H29年度	H30年度	H31年度	R2年度
収入(円)	398,471,125	387,115,686	406,585,652	417,691,012
支出(円)	312,894,369	335,920,817	342,759,545	363,770,853
差額	85,576,756	51,194,869	63,826,107	53,920,159

○状況

松葉学園はコロナの影響で生活介護通所利用者数が少なかった日や修繕にかかる支出があったが、全体的には大きな変化はなく安定している。夢の家は、グループホームを出て一人暮らしをしたいという利用者もおり、今後も利用者の入れ替わりが考えられる。いっとき館は、なごみかん開設にかかる設備関係で支出が多かったが、利用者数も増え収入は増加した。ぽのぽのは、コロナの影響で放課後等デイの夏休み利用者の伸びが悪かったが、児童発達支援の利用者が増えたことで、収入の増加につながっている。

利用者推移

入所	H29年度	H30年度	H31年度	R2年度
利用者(人)	26,446	24,202	26,155	25,389
前年比(%)	97.3%	91.5%	108.1%	97.1%

夢の家	H29年度	H30年度	H31年度	R2年度
利用者(人)	13,125	13,244	13,686	13,752
前年比(%)	99.2%	100.9%	103.3%	100.5%

ぽのぽの	H29年度	H30年度	H31年度	R2年度
利用者(人)	4,602	4,842	5,395	5,452
前年比(%)	140.6%	105.2%	111.4%	101.1%

いっとき館	H29年度	H30年度	H31年度	R2年度
利用者(人)	6,858	6,487	6,358	7,289
前年比(%)	103.9%	94.6%	98.0%	114.6%

○状況

入所は、亡くなられた方もおり、定員を満たしていない日が続いたが、令和3年5月には定員を満たすことになっている。生活介護は、利用日数の少なかった利用者の利用日数の増加や新たな利用者が増えたが、コロナの影響で延べ人数は減少した。いっとき館は、なごみかん開設に伴い、利用者の働く場を新たに設けることができ、利用者数も5名程度増え、延べ利用者数も増加した。夢の家は、家庭へ戻られたり、一人暮らしを始めた、施設入所に移行する方がいたりし、利用者数が減ったが、コロナの影響で帰宅日数が減少し、大幅には利用者数は変わらなかった。ぽのぽのは、送迎を行う等工夫を凝らすことで、児童発達支援の利用者が増加した。

施設整備

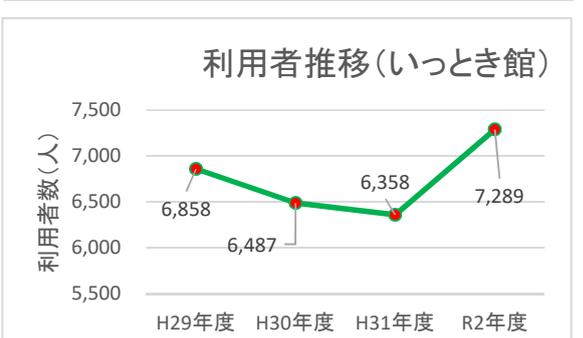
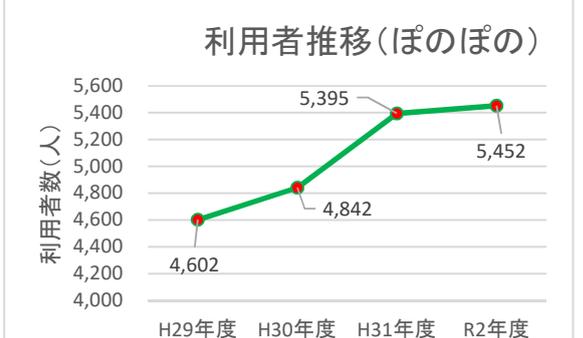
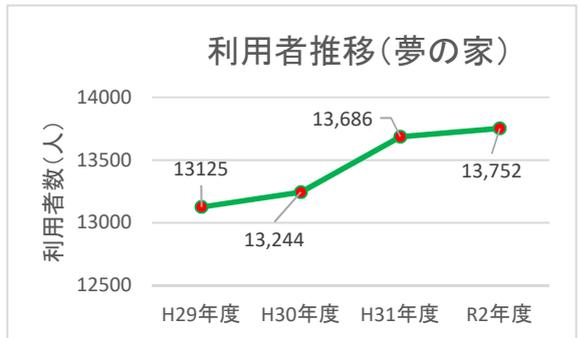
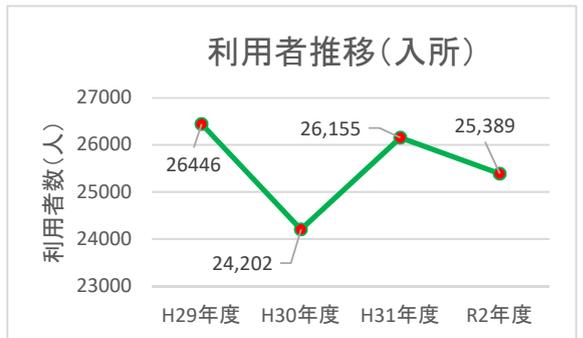
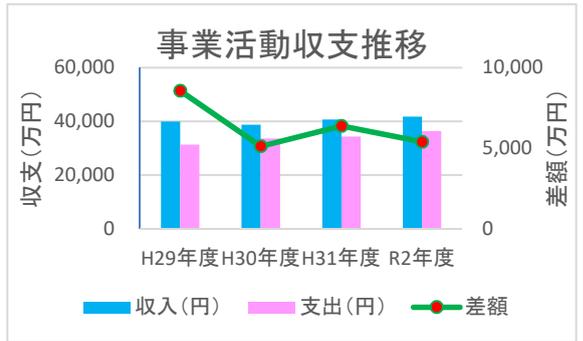
- ・松葉学園建物修繕(キッチン排水、壁、床、居室等) ・LED工事
- ・オゾン脱臭器、タブレット、パソコン購入、Wi-Fi工事(コロナ補助金)
- ・松葉学園公用車8人乗り1台(リース)
- ・夢の家サイクルポート設置・夢の家軽自動車1台(リース)
- ・いっとき館入口床修繕 ・いっとき館公用車7人乗り、軽自動車各1台(リース)
- ・なごみかんシステムレジスター(西予市補助金)
- ・なごみかん開設にかかる電化製品一式及びパン製造にかかる設備

人材育成・研修

- ・OJTフェスティバル(少人数で実施)
- ・新人、新任研修
- ・サポーター業務報告会
- ・感染症研修

トピックス

・西予市の指定管理を受け、地域共生型交流拠点施設なごみかんをオープンした。コロナ感染症の予防対策をしながらの対応であるが、パン工房、ボルダリング、健康器具、オープンスペース等、地域の方々に少しずつ利用してもらっている。



事業報告 : 希望の森

事業活動収支推移

	H29年度	H30年度	H31年度	R2年度
収入(円)	265,110,007	276,098,536	300,869,359	306,514,382
支出(円)	195,436,739	187,519,964	193,796,539	197,424,549
差額	69,673,268	88,578,572	107,072,820	109,089,833

○状況

支援施設は、コロナウイルス感染症による通所利用者の利用見合わせだけでなく、入所利用者の高齢化により複数名の体調不良者や入院も多く、空床ができ利用率が下がった。しかし、新規加算取得により最小限の減収に抑えることができた。相談支援事業は加算取得だけでなく、利用件数の増加も顕著であり大幅な増収増益となったため、拠点合計としては増収増益。

施設・設備整備積立金 : 85,000,000円

利用者推移

入所	H29年度	H30年度	H31年度	R2年度
利用者(人)	27,210	27,694	27,946	27,660
前年比(%)	99.3%	101.8%	100.9%	99.0%

短期	H29年度	H30年度	H31年度	R2年度
利用者(人)	1,371	1,423	1,522	1,360
前年比(%)	93.5%	103.8%	107.0%	89.4%

日中一時	H29年度	H30年度	H31年度	R2年度
利用者(人)	198	174	317	332
前年比(%)	125.3%	87.9%	182.2%	104.7%

○状況

コロナウイルス感染症による通所利用者の利用見合わせだけでなく、入所利用者の高齢化により複数名の体調不良者や入院も多く、空床ができ利用率が下がった。

施設整備

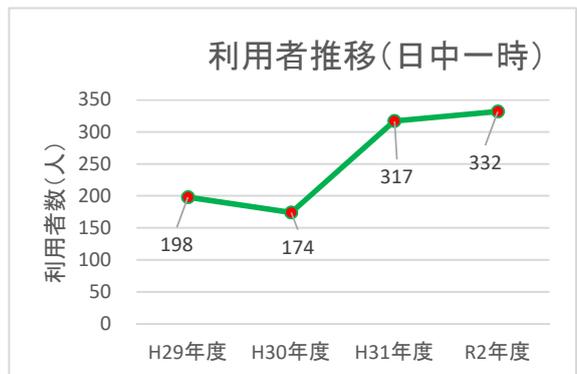
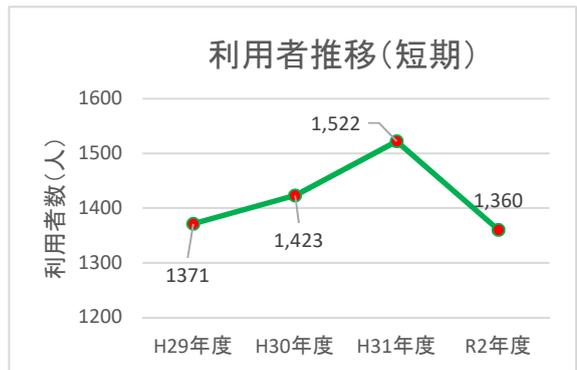
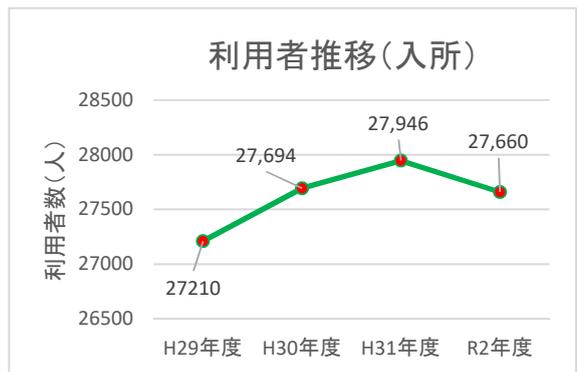
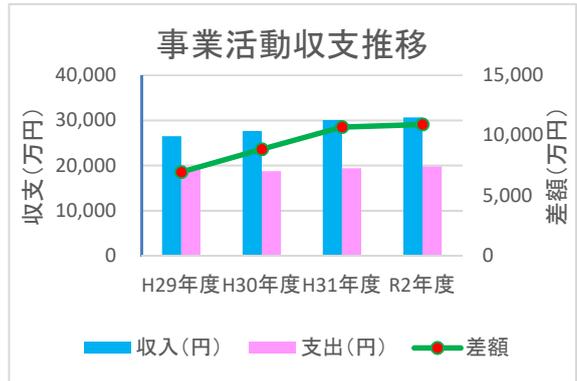
- ・Wi-Fi設備
- ・感染症対策に関する備品の購入
- ・居室のリフォーム

人材育成・研修

- ・行動援護支援者養成研修(出張)
 - ・医療的ケア児等支援者養成研修(リモート)
- ※その他研修等は中止。
- ・日頃のコミュニケーションに特に気を配り、面談も実施。

トピックス

職員退職者0人。相談支援事業は加算及び利用者増により大幅に増収増益。入所女性利用者が退所し特別養護老人ホームへ(松葉寮)



事業報告 : ひまわりの家

事業活動収支推移

	H29年度	H30年度	H31年度	R2年度
収入(円)	192,624,224	168,427,790	184,170,063	185,160,127
支出(円)	141,658,315	146,699,798	147,248,776	151,541,126
差額	50,965,909	21,727,992	36,921,287	33,619,001

○状況

年度末実績で、養護は定員20名に対し現員20名であり、収支も堅調であったが、心理は定員10名に対し、現員4名であり、収支は赤字となる。全体で見ると堅調な児童養護が支えている状況であった。次年度の暫定定員は養護20名、心理7名となる見込み。

施設・設備整備積立金 : 23,500,000円

利用者推移

児童養護	H29年度	H30年度	H31年度	R2年度
利用者(人)	6,910	7,881	6,991	7,109
前年比(%)	131.4%	114.1%	88.7%	101.7%

児童心理	H29年度	H30年度	H31年度	R2年度
利用者(人)	1,837	2,207	2,041	1,632
前年比(%)	147.9%	120.1%	92.5%	80.0%

○状況

児童養護は11月に小3女児1名措置入所により、定員の20名に達した。ただし、年度末に高3生4名が就職等による退所で次年度は17名でのスタートとなる。

児童心理は2名入所、2名退所で年度末の在籍は4名。(県内2名、県外2名)

施設整備

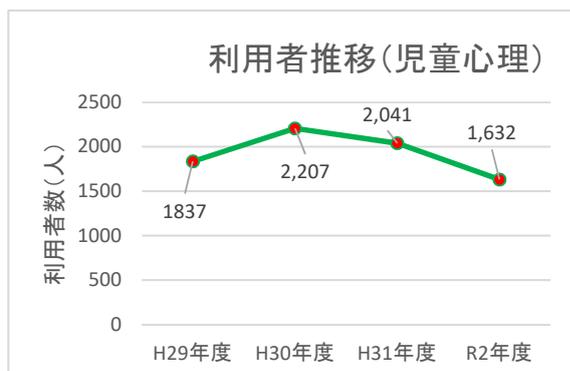
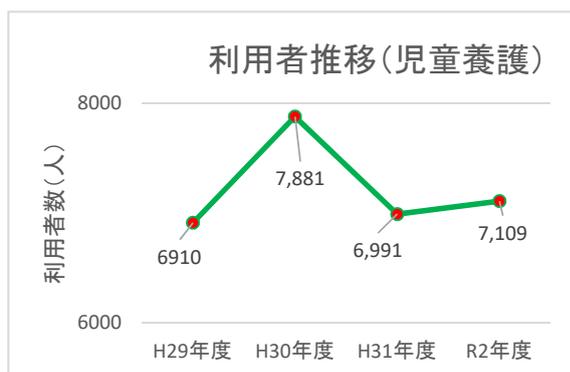
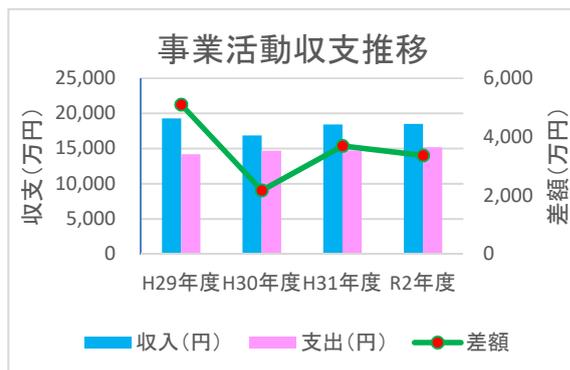
- ・加湿器付き空気清浄機の整備
- ・児童養護児童分マットレスの更新
- ・ノートPC(レンタル)の更新

人材育成・研修

月1回、施設内研修を実施。全職員が一度は講師担当。
在籍職員が認定心理士の資格取得

トピックス

10月より、児童養護施設にも心理士を配置することが出来、養護・心理ともに心理士の配置が出来た。
ひまわりプロジェクト(性に関する)を立ち上げ、施設での性指導の標準化を目指している。



事業報告 : 中川保育園

事業活動収支推移

	H29年度	H30年度	H31年度	R2年度
収入(円)	75,999,547	100,221,378	87,793,279	92,138,017
支出(円)	61,419,800	74,258,486	70,848,427	75,360,296
差額	14,579,747	25,962,892	16,944,852	16,777,721

○状況

・今年度も4月当初より定員を超える入所となっているが、低年齢児の受け入れに制限があり、伸び悩んだ。
 ・学童保育では、入所希望者が多く増収となったが、2か所に分かれての保育となったために支援員の雇用をし、支出が多くなった。

施設・設備整備積立金 : 12,000,000円

利用者推移

保育園	H29年度	H30年度	H31年度	R2年度
利用者(人)	704	854	706	704
前年比(%)	102.9%	121.3%	82.7%	99.7%

学童保育	H29年度	H30年度	H31年度	R2年度
利用者(人)	283	377	410	382
前年比(%)	93.7%	133.2%	108.8%	93.2%

○状況

・4月当初から定員を超える入所となったため、途中入園の受け入れが出来ず、また2か月間退園、再入園の入れ替わりがあった。
 ・学童保育では、当初41名の入所だったが、夏ごろから退所が続き、令和2年1月からは人数が減り、ななほし中川1か所で保育できる人数となった。

施設整備

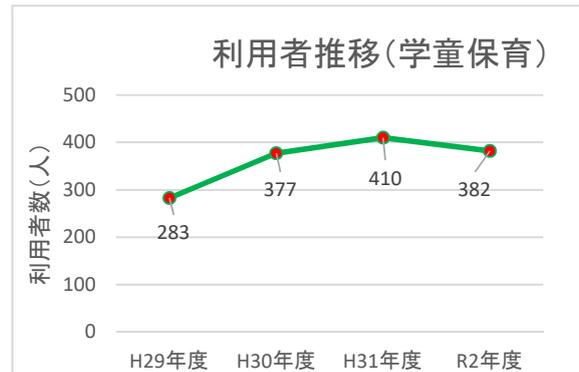
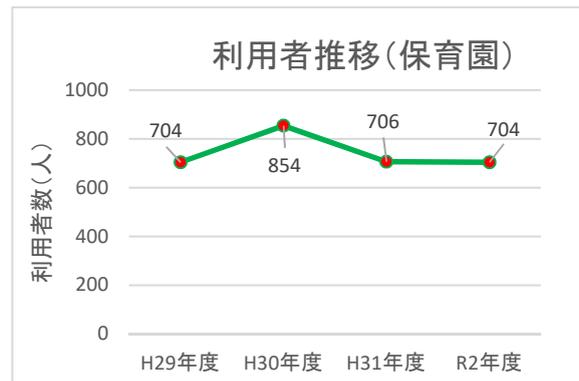
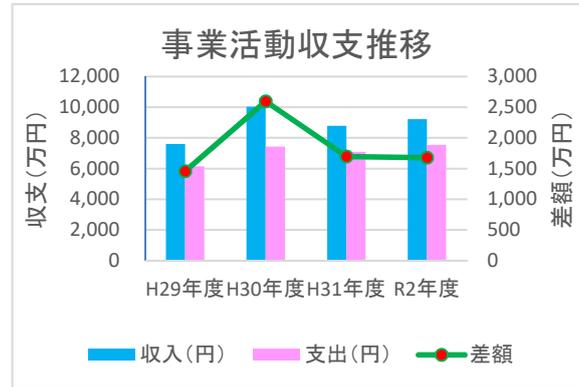
- ・保育園裏駐車場整地工事
- ・雲梯修繕工事
- ・プランコ修繕工事
- ・オゾン脱臭器 ・電解水素水装置 ・電解水生成装置(コロナ補助金)

人材育成・研修

- ・キャリアアップ研修(コロナ対策として録画配信)
- ・新人・新任職員研修会
- ・OJT研修
- ・西予市保育協議会研修会
- ・各部会研修(絵画・創作)
- ・園内研修(毎月)
- ・リモート研修

トピックス

・中川保育園は、周囲を自然に囲まれており、地域とのつながりのある保育園だが、今年度は新型コロナウイルスの影響で、地域やお年寄りとの交流が出来なかった。保育園の行事は、感染防止対策を行い、保護者の協力のもと様々な工夫をし実施することが出来た。
 ・保育理念の「生きる力を培う」の基、園外保育など自然の中での体験を多く取り入れ、また、異年齢や様々な人との関わりを通して、優しさや思いやりの気持ちが育っている。
 ・学童保育では、今年度は入所希望が多く、小学校のご理解をいただき、音楽室をお借りして、2か所での保育を行った。今年度はコロナの影響で交流や様々な行事が出来なかったが、工夫をして子どもたちが楽しめる取り組みを行った。



事業報告 : 田之筋保育園

事業活動収支推移

	H29年度	H30年度	H31年度	R2年度
収入(円)	61,769,400	68,845,531	80,324,635	91,382,285
支出(円)	47,929,271	51,934,607	64,232,664	64,398,259
差額	13,840,129	16,910,924	16,091,971	26,984,026

○状況

・今年度も入園当初から定員を大幅に超えており、低年齢児の入園も多かったため、安定した運営となった。

施設・設備整備積立金 : 21,400,000円

利用者推移

保育園	H29年度	H30年度	H31年度	R2年度
利用者(人)	468	561	579	711
前年比(%)	103.3%	119.9%	103.2%	122.8%

○状況

・ここ数年、定員を超えての入園となっている。
・さくら団地からの利用者も増え、出生数も増加しているため、全体的に利用者が多かった。

施設整備

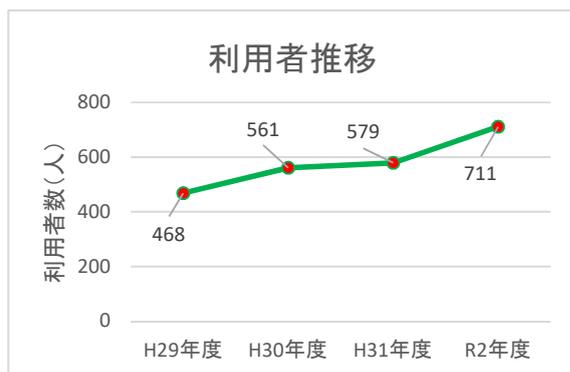
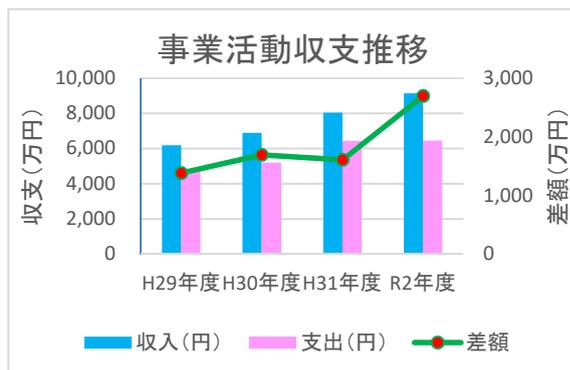
- ・厨房入口浄水槽鉄製蓋
- ・木製複合遊具防腐塗装工事
- ・汚水マス取替配管工事
- ・トイレ塗床工事
- ・門扉更新
- ・新型コロナウイルス感染症の補助金より設置
(電解水生成装置、電解水素水装置、オゾン脱臭器)

人材育成・研修

- ・保育士等キャリアアップ研修会
- ・法人主催研修会(OJT、各委員会)
- ・部会研修(絵画、創作)
- ・西予市保育協議会研修会
- ・園内研修

トピックス

・保育理念の基、コロナ禍で出来る範囲ではあったが、職員と子ども達が田之筋地区の自然の中で、茶摘みや泥んこ遊び・芋ほり等楽しい体験をさせて頂き地域の中の保育園の存在を感じた。
・男性保護者会による「芝かれ隊」も結成7年目となり、増々父親同士の繋がりも深まってきている。全面芝生化の園の整備等子ども達が安全に遊べる環境作りには大変ご協力して頂き、とても気持ちよく過ごせている。



事業報告 : 下宇和保育園

事業活動収支推移

	H29年度	H30年度	H31年度	R2年度
収入(円)	61,569,003	66,378,694	88,116,920	64,893,108
支出(円)	53,798,106	59,772,212	68,393,807	57,347,544
差額	7,770,897	6,606,482	19,723,113	7,545,564

○状況

・H31年度は、休園した明間保育園からの園児受入れにより常に定員(40名)を超える利用があり増収。令和2年度、明間保育園が再開し、園児が減ったことにより減収。

・明下田クラブ安定した事業展開が行えている。

施設・設備整備積立金 : 3,800,000円

利用者推移

保育園	H29年度	H30年度	H31年度	R2年度
利用者(人)	460	493	635	466
前年比(%)	112.7%	107.2%	128.8%	73.4%

学童保育	H29年度	H30年度	H31年度	R2年度
利用者(人)	419	303	359	420
前年比(%)	85.2%	72.3%	118.5%	117.0%

○状況

・定員40名に対し年度当初は36名。途中入園もあり年度末には41名であった。

・明下田クラブは田之筋小学校児童の利用が増えた。

施設整備

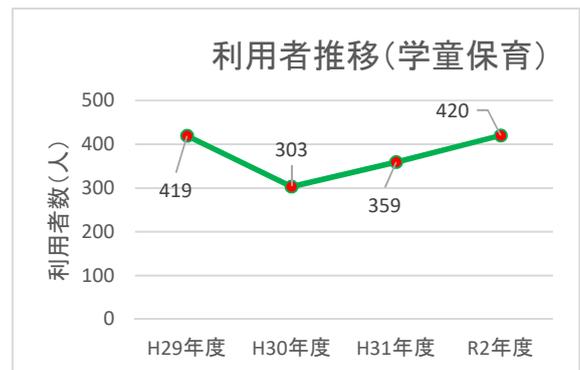
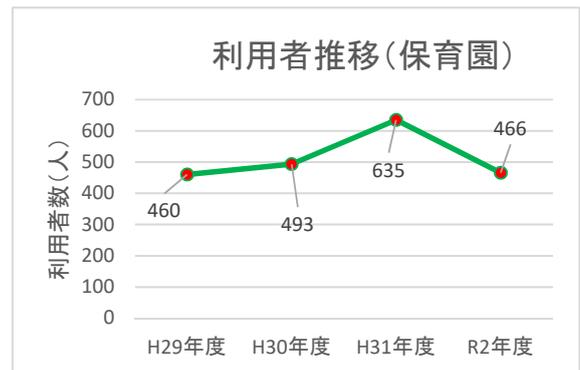
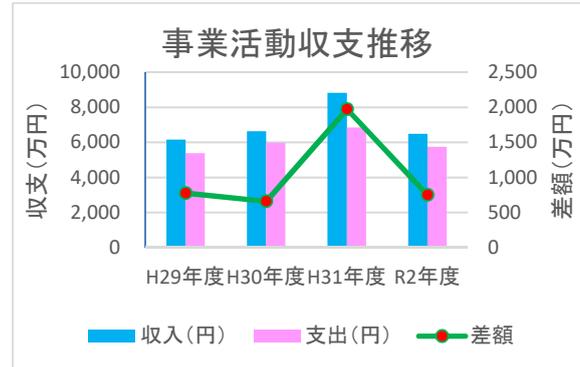
- ・電解水生成装置を保育園給食室に設置
- ・電解還元水整水機設置(保育園・明下田クラブ)
- ・オゾン脱臭機(保育室)
- ・公用車(中古車)8人乗りワゴン(明下田クラブ)

人材育成・研修

- ・安全衛生推進者講座
- ・西予市保育協議会研修
- ・保育士等キャリアアップ研修
- ・部会研修(創作・絵画)
- ・法人主催研修(OJT・各部会)

トピックス

- ・明下田クラブ:令和元年4月から下宇和公民館の2階にて運営をしていたが、学童保育専用の施設が完成(公設民営)し、令和3年3月25日開所式を経て、新しい場所(皆田地区JA跡地)での運営となる。
- ・園行事等、新型コロナウイルス感染症対策を取り工夫をを行った。



事業報告 : 明間保育園

事業活動収支推移

	H29年度	H30年度	H31年度	R2年度
収入(円)	33,817,718	47,844,544	0	34,434,634
支出(円)	35,692,281	36,867,154	940,318	31,360,429
差額	△ 1,874,563	10,977,390	△ 940,318	3,074,205

○状況

・4月より、園児数13名で再開となった。常に定員割れの状況ではあったが、途中0歳児の入所があり、年度末にプラスに転じた。
 ・コロナ感染防止対策のため、地域の方との交流は少なかったが、園児の声がしてうれしいと喜んで頂いた。

施設・設備整備積立金 : 4,000,000円

利用者推移

保育園	H29年度	H30年度	H31年度	R2年度
利用者(人)	209	252	-	173
前年比(%)	68.5%	120.6%	-	-

○状況

・常に定員割れの状況であった。途中入園児(5名)はあったが、明間の子ども1名、西予市の待機児童2名、市内の里帰り出産のための園児2名で、明間の園児は少なかった。少人数保育の難しさを感じる。

施設整備

- ・2人用ブランコ
- ・電解水生成装置
- ・トリムイオンハイパー
- ・オゾン脱臭装置

人材育成・研修

- ・新人・新任職員研修
- ・保育士等キャリアアップ研修
- ・部会研修(創作・絵画)
- ・法人主催研修(OJT・各部会)
- ・市保育協議会研修

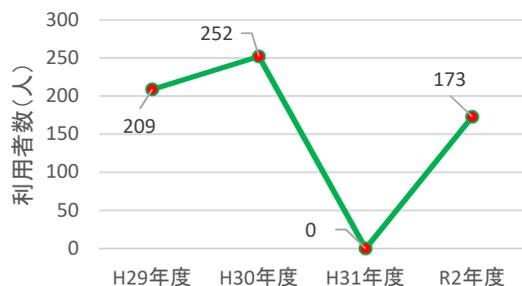
トピックス

・平成30年の豪雨災害で避難指示区域に指定され、昨年度は休園となっていたが、解除され4月より再開となった。
 ・遊具が使用不可となり撤去された。少人数の為家庭的な雰囲気を大切に、山の広場やどんぐり王国等明間の自然を生かした保育を行った。

事業活動収支推移



利用者推移



事業報告 : 宇和保育園

事業活動収支推移

	H29年度	H30年度	H31年度	R2年度
収入(円)	148,671,416	141,279,728	149,728,497	143,590,964
支出(円)	135,908,662	124,085,363	132,443,586	122,894,657
差額	12,762,754	17,194,365	17,284,911	20,696,307

○状況

年度当初112名から一年間ほぼ利用者数が増えず、収入は下がっている。支出がなかったため、差額としては増加している。

施設・設備整備積立金 : 14,000,000円

利用者推移

保育園	H29年度	H30年度	H31年度	R2年度
利用者(人)	1,609	1,453	1,508	1,598
前年比(%)	99.6%	90.3%	103.8%	106.0%
一時保育	H29年度	H30年度	H31年度	R2年度
利用者(人)	509	702	386	379
前年比(%)	96.6%	137.9%	55.0%	98.2%
支援センター	H29年度	H30年度	H31年度	R2年度
利用者(人)	5,487	4,566	4,139	2,519
前年比(%)	88.3%	83.2%	90.6%	60.9%
学童保育	H29年度	H30年度	H31年度	R2年度
利用者(人)	946	684	657	633
前年比(%)	144.9%	72.3%	96.1%	96.3%

○状況

新型コロナウイルスの影響で、特に支援センターは大幅な利用者減であった。保育士が不足していることもあり、利用希望があっても受け入れることができない状況があった。

施設整備

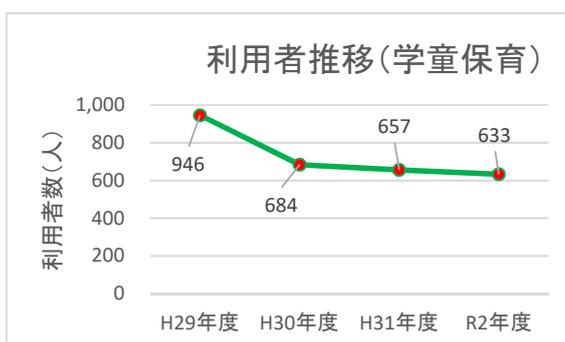
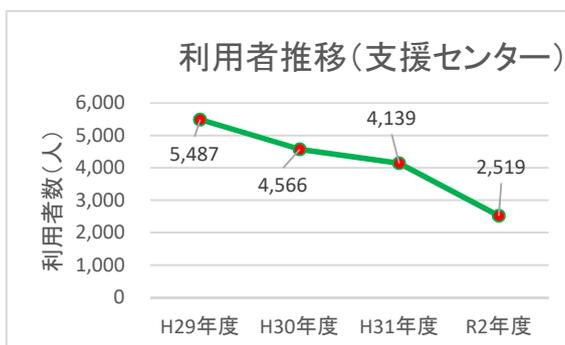
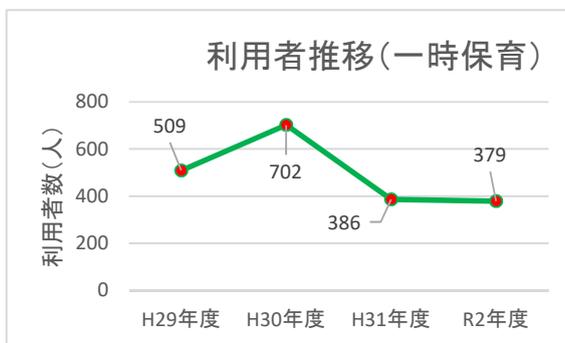
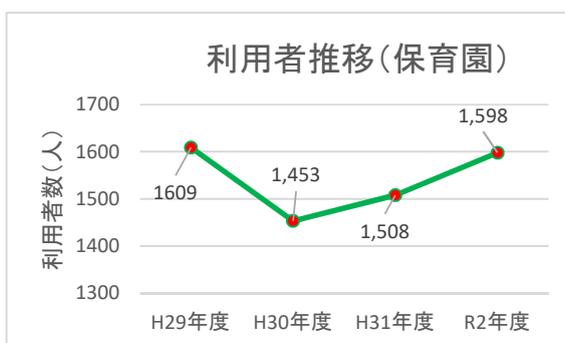
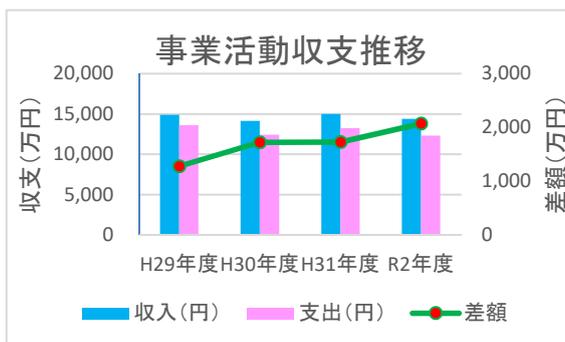
子ども用便座を温便座に変更工事
2歳児保育室エアコン購入

人材育成・研修

- ・キャリアアップ研修
- ・OJT研修(新人・新任研修)
- ・園内研修

トピックス

新型コロナウイルス感染拡大防止のため、各行事などは規模縮小や中止を余儀なくされた。その中で、新しい取り組みを見つけることもできた。
3月末での離職率が17%であった。



事業報告 : うわまち未来こども園

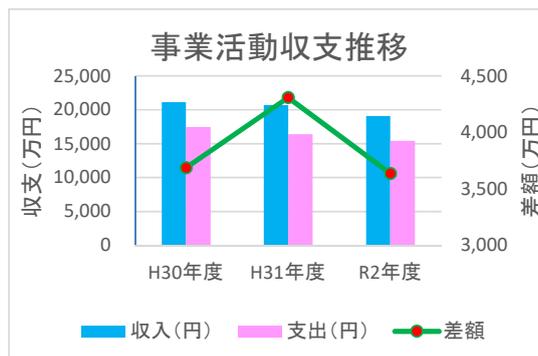
事業活動収支推移

	H29年度	H30年度	H31年度	R2年度
収入(円)	—	211,502,826	207,084,192	190,832,091
支出(円)	—	174,617,254	163,996,312	154,470,701
差額	—	36,885,572	43,087,880	36,361,390

○状況

・令和2年度は、4月当初、190名の定員のうち、150名スタートであった。途中で入所や退所があり、3月末、155名の園児数。待機児童を減らす為と、利益につなげる為、1月に0歳児3名の入所をすませ利益増につながった。

施設・設備整備積立金 : 70,000,000円



利用者推移

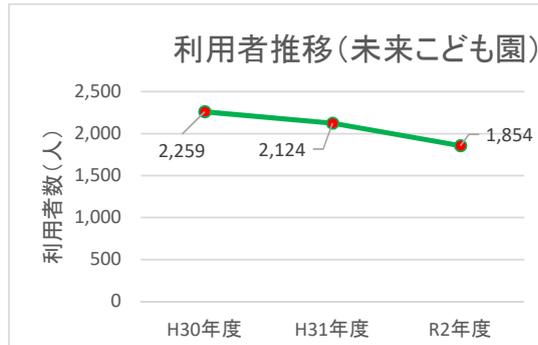
こども園	H29年度	H30年度	H31年度	R2年度
利用者(人)	—	2,259	2,124	1,854
前年比(%)	—	—	94.0%	87.3%

一時保育	H29年度	H30年度	H31年度	R2年度
利用者(人)	—	162	442	345
前年比(%)	—	—	272.8%	78.1%

学童保育	H29年度	H30年度	H31年度	R2年度
利用者(人)	—	463	468	480
前年比(%)	—	—	101.1%	102.6%

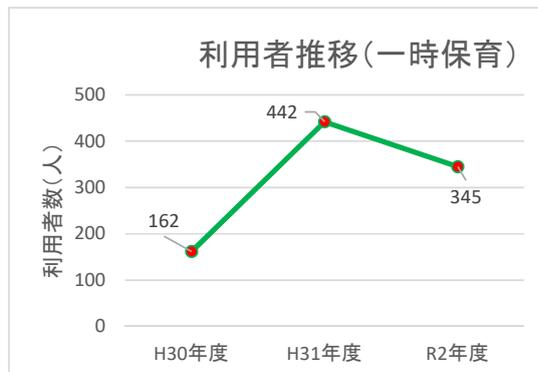
○状況

・園児数については、定員割れの状態ではあったが、1月より、職員の配置等の工夫で、待機していた0歳児の入所をすませた。
 ・学童については、ずっと定員40名いっぱい状態で、利益につながった。



施設整備

・コロナ補助金により、オゾン脱臭機や、電解水生成装置・加湿空気清浄機等の設置など、感染症対策用機器の整備をおこなった。
 ・保護者会長より、まなびあん駐車場の使い方について、子ども達の安全確保の為の提案があり、市のご協力も得て、橋の修繕もしていただき、駐車場に可愛い足形も設置していただき、子ども達の安全の為、改善することができた。

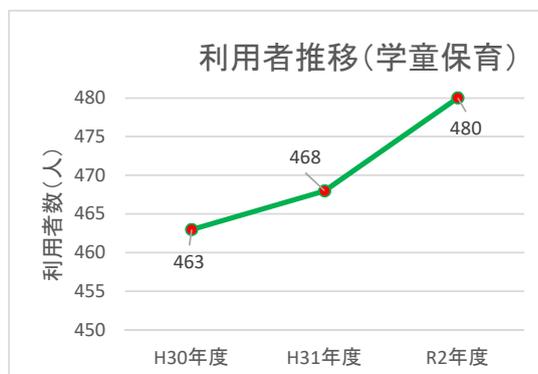


人材育成・研修

- ・OJT新人・新任研修(絵本の読み聞かせ・選び方・グループワーク)
- ・西予市保育協議会研修会(同和教育等)
- ・保育士キャリアアップ研修(乳児保育・幼児保育・障がい児保育等)
- ・初任主任保育士研修会
- ・児童虐待防止研修会
- ・ベネッセ保育研修会
- ・メンタルヘルス研修
- ・園内研修

トピックス

・コロナ禍の中で行事の工夫をし、感染対策に気をつけながら、子ども達が楽しめるような計画をし、話し合いをしながら実施することができた。
 ・まなびあん駐車場の使い方については、ルールづくりができあがったが、引き続き、安全に気をつけて使っていただく為の啓発等、おこなっていきたいと思う。



事業報告 : 石城保育園

事業活動収支推移

	H29年度	H30年度	H31年度	R2年度
収入(円)	—	73,196,454	69,412,741	63,379,959
支出(円)	—	55,912,181	57,001,920	55,693,522
差額	—	17,284,273	12,410,821	7,686,437

○状況

- ・老朽化による遊具の修繕や、エアコン(2台)・厨房機器等の設置等の費用がかさんだ。
- ・年間の内7か月は定員を割ったため、収入減となった。

施設・設備整備積立金 : 10,000,000円

利用者推移

保育園	H29年度	H30年度	H31年度	R2年度
利用者(人)	—	596	613	581
前年比(%)	—	—	102.9%	94.8%

○状況

- ・新年度43名でスタートし、8名の途中入園、2名の途中退園があり、年度末には49名となった。秋以降5か月間は、定員をオーバーする利用があった。

施設整備

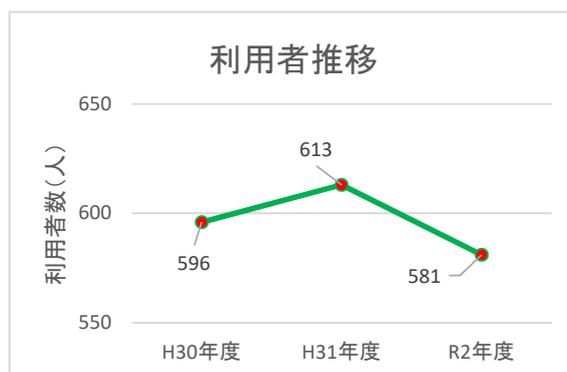
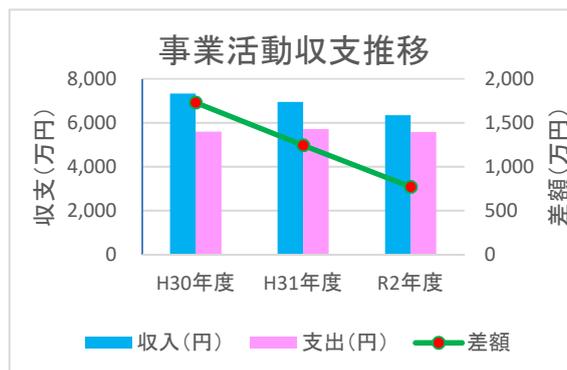
- ・給食室消毒保管庫 ・空気清浄機 ・食器洗浄機 ・ガスオープン
- ・電解水生成装置 ・ままごとハウス、砂場修繕
- ・天井カセット式エアコン(事務所、なかよしルーム)
- ・電解水素水装置 ・天井吊形エアコン(ホール)

人材育成・研修

- ・キャリアアップ研修
- ・OJT研修
- ・絵画部会、創作部会
- ・愛媛県教育・保育施設長研修会
- ・接遇・マナー研修
- ・西予市保育協議会研修会

トピックス

- ・新型コロナウイルス禍での行事開催にあたり、規模を縮小したり内容を工夫したりしながら、感染防止対策を行い実施した。
- ・新型コロナウイルス感染防止対策として、緊急包括支援事業を財源に電解水生成装置・電解水素水装置・空気清浄機を購入し、活用している。
- ・年長児は2月に、西予市環境衛生課より「鶴の観察会」の依頼があり、山田にある観察所へ行き、望遠鏡や双眼鏡を使って鶴や野鳥を観察した。鶴の渡来する地域であることを、誇りと感じる事ができた。また、思い出遠足では、笠置古墳に出かけた。往復4時間半の道のりを全員元気に歩くことができ、山頂から見下ろす宇和盆地の広さに感動した。



事業報告 : 多田保育園

事業活動収支推移

	H29年度	H30年度	H31年度	R2年度
収入(円)	—	50,343,211	42,622,981	44,718,631
支出(円)	—	44,494,492	41,564,814	38,283,804
差額	—	5,848,719	1,058,167	6,434,827

○状況

・老朽化による設備の修繕や、また新設工事等を行い、費用がかさんだが、年間通して定員を超える利用者があり、事業活動収支がプラスになった。

利用者推移

保育園	H29年度	H30年度	H31年度	R2年度
利用者(人)	—	318	281	287
前年比(%)	—	—	88.4%	102.1%

○状況

・少子化、人口減少等により、入園希望児童が減少傾向にはあるが、年間通して23名から25名の定員20名を超える利用があった。

施設整備

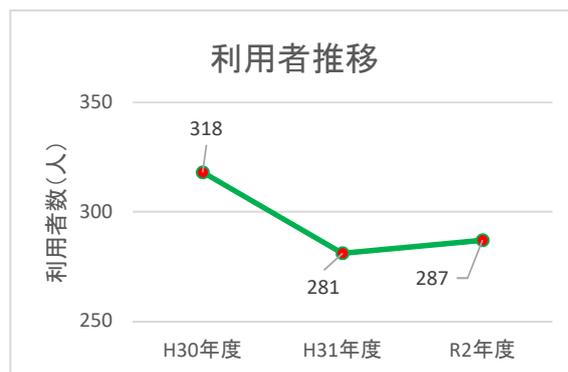
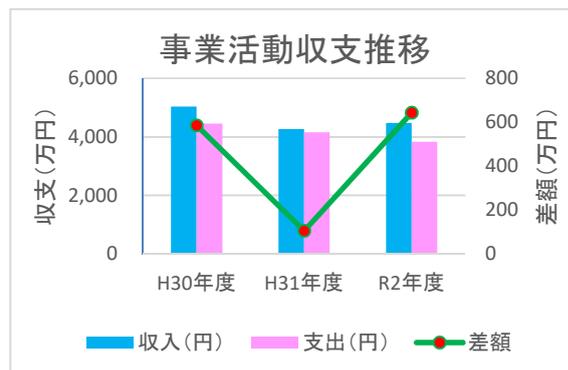
- ・保育室業務用エアコン取替設置
- ・園庭雨水管管内洗浄工事
- ・給食室外洗場排水詰まり修繕工事
- ・保育室ガス給湯器配管新設工事
- ・給食室高速オープン取替設置
- ・土管土山新設 ・滑り台取付け工事
- ・電解水生成装置、除菌加湿空気清浄機、電解還元水整水機設置

人材育成・研修

- ・キャリアアップ研修(eラーニング)
- ・法人主催研修(OJT・メンタルヘルス・部会研修等)
- ・園内研修(自己評価・人権擁護セルフチェック・リスクについて等)
- ・西予市保育協議会研修会(人権について等)

トピックス

- ・新型コロナウイルス感染症対策を行いながらの保育となり、行事なども規模を縮小して行うことが多かった。
- ・新型コロナウイルス感染症緊急包括支援事業により、電解水生成装置、除菌加湿空気清浄機、電解還元水整水機、また衛生用品(マスク、体温計、消毒液等)を購入し、感染症予防に努めた。



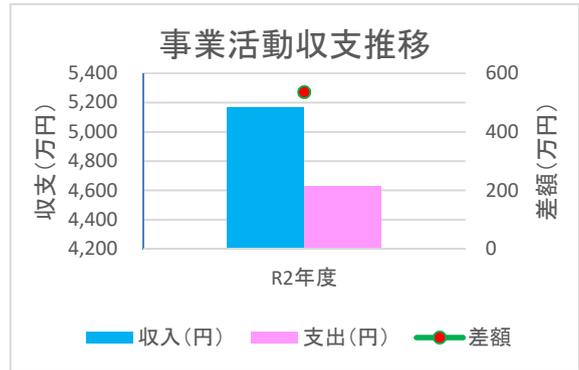
事業報告 : 高山保育園

事業活動収支推移

	H29年度	H30年度	H31年度	R2年度
収入(円)	—	—	—	51,673,421
支出(円)	—	—	—	46,312,843
差額	—	—	—	5,360,578

○状況

園児の月平均人数が17.5人であり経営的に厳しい数字である。今年度は、民営化補助金により事業活動収支はプラスとなっているが、補助金がなくなれば厳しい経営が予想される。

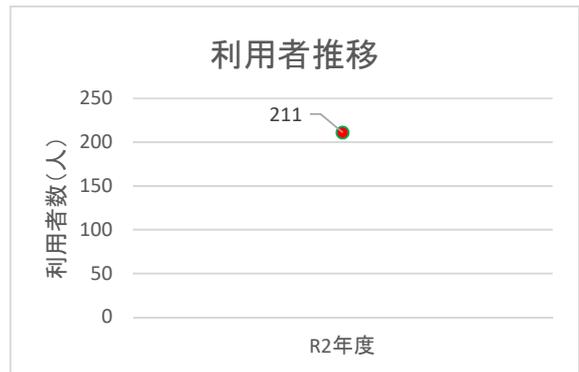


利用者推移

保育園	H29年度	H30年度	H31年度	R2年度
利用者(人)	—	—	—	211
前年比(%)	—	—	—	—

○状況

4月のスタート時点では15名の園児であった。その後、広域での里帰り出産や、保護者の一時就労で変動があった。その後帰郷により俵津地区の方が俵津保育所が入所できないことで高山に入園された。高山地区での出産が少ないため、狩江地区の方の入所を期待したい。



施設整備

- ・新園舎建設 総事業費(備品含む) 1億3700万円
対象経費の80%が補助金
その外新園舎の備品購入(厨房設備、保育備品、事務備品)

人材育成・研修

- ・キャリアアップ研修
- ・社会福祉施設長資格認定講習
- ・園内研修(自己評価、人権擁護、危険予知、感染症対策等)

トピックス

園舎の老朽化及び自然災害の不安解消のため、西予市明浜支所横に、新園舎を建設して頂いた。地震による津波や裏山の土砂災害の心配なく保育をすることが出来るようになった。旧園舎に比べ保育室や、園庭が狭くなっているが、園児たちはその環境に適応して生活している。園の方針や保育目標に即して、保育を行っていきたいと思う。

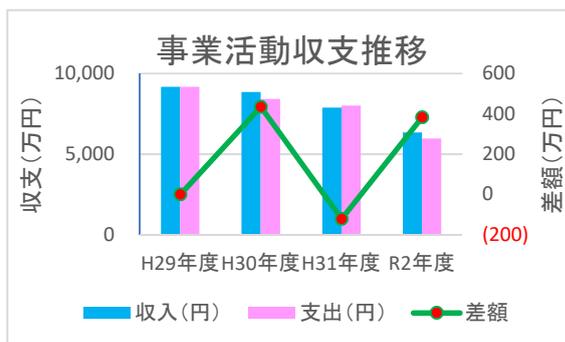
事業報告 : 松葉診療所

事業活動収支推移

	H29年度	H30年度	H31年度	R2年度
収入(円)	91,682,105	88,436,319	78,760,391	63,388,618
支出(円)	91,673,375	84,091,332	79,978,864	59,563,857
差額	8,730	4,344,987	△ 1,218,473	3,824,761

○状況

コロナ流行による受診の控えにより、収入が減少したと思われる



利用者推移

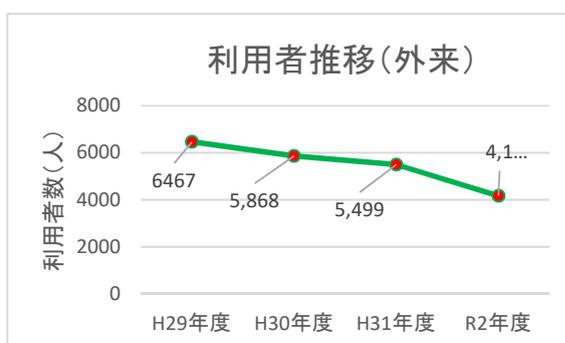
外来	H29年度	H30年度	H31年度	R2年度
利用者(人)	6,467	5,868	5,499	4,172
前年比(%)	89.4%	90.7%	93.7%	75.9%

訪問診療	H29年度	H30年度	H31年度	R2年度
利用者(人)	932	1,191	1,065	783
前年比(%)	105.3%	127.8%	89.4%	73.5%

往診	H29年度	H30年度	H31年度	R2年度
利用者(人)	292	221	132	135
前年比(%)	133.9%	75.7%	59.7%	102.3%

○状況

コロナ流行による受診の控えにより、患者さんが減少したと思われる



施設整備

イオン発生機付空気清浄機2台購入
CRコンソール更新(レントゲン用PC設備更新)

人材育成・研修

医療ガスボンベの取り扱いと点検について

トピックス

